

baby lock

ウェーブロック

チェーンステッチ

4本糸オーバーロック

カバーステッチ

3本糸オーバーロック

トリプルカバーステッチ

2本糸オーバーロック

5本糸インターロック

NUIKOUBOU

縫工房

wave

Jet Air
motor drive system

ご使用のてびき

Instruction Manual

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告 → 感電、火災の恐れがあります。

- ◇ 一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇ 使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。

⚠ 注意 → 感電、火災、ケガの原因となります。

- ◆ コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
- ◆ お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。
- ◆ 以下の場所でのご使用および保管はしないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所 ・高い場所
 - ・お子様の手の届く場所 ・湿気が多い押し入れ等の中
- ※ ミシンの使用温度は0°C~40°Cです。
- ◆ ミシンは半年に一回程度、理想的には3ヶ月に一回は動かして下さい。
長期間使用しなかったために不具合が生じた場合は、販売店でのメンテナンスをお勧めします。
- ◆ ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。
- ◆ 以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき(エアボタンを押すとき以外)
 - ・メスの交換をするとき ・押え金を交換するとき
 - ・針を交換するとき
- ◆ ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等しないでください。
- ◆ 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。
- ◆ 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張らないでください。
- ◆ ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ ミシン内部にドライバーや異物を入れしないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆ 以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき ・異常な臭いや音がするとき ・正常に作動しないとき
- ◆ 操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆ 縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆ 操作時は、ミシン本体のカバー類(メスカバー等)はすべて閉じてください。

もくじ

□ 安全にご使用いただくために 1

共通編

□ 基本縫い一覧 3

① ご使用になる前に 4

② 各部の名称 5

③ 縫うための準備 6

 アンテナのセット/コントローラーの
 セット/糸について(ベビーネットの
 使い方・駒受けの使い方・増設糸立台)

④ 試し縫い 7

 縫い始め/縫い終わり/「空環」の始末

⑤ 縫い目調節とメスの固定 9

 かがり幅の調節/送り目の調節
 /メスの固定/押え圧力の調整
 /ロックの糸調子微調整ツマミ

⑥ 差動送り 11

オーバーロック編

⑦ 「オーバーロック」の糸かけ

 糸かけ全体図 13

 ジェットエアスルーの使い方 14

 下ルーパー糸 15

 上ルーパー糸 16

 右針糸・左針糸 17

 太い糸のかけ方 18

⑧ 「オーバーロック」の縫い方

 2本針4本糸ロックの縫い方 19

 1本針3本糸ロックの縫い方 19

 巻きロック(標準)の縫い方 20

 巻きロック(変形)の縫い方 20

 1本針2本糸ロックの糸かけ 21

 1本針2本糸ロックの縫い方 22

ウェーブロック編

⑨ ウェーブロックの糸かけ

 糸かけ全体図 24

 ジェットエアスルーの使い方 25

 下ルーパー糸 26

 上ルーパー糸 27

 右針糸 28

 太い糸のかけ方 29

⑩ ウェーブロックの縫い方

 「ウェーブロック」の縫い方 30

 「巻きウェーブロック」の縫い方 30

カバーステッチ編

⑪ チェーン/カバー/トリプルカバー
 ステッチの切換え 32

⑫ チェーン/カバー/トリプルカバー
 ステッチの糸かけ

 ジェットエアスルーの使い方 33

 チェーンルーパー糸 34

 チェーン針糸 35

⑬ チェーン/カバー/トリプルカバー
 ステッチの縫い方

 「チェーンステッチ」の縫い方 36

 「カバーステッチ」の縫い方 37

 「トリプルカバーステッチ」の縫い方 38

⑭ 実用縫い

 「標準押え」でテープを入れる 39

 カバーステッチの裾縫い 39

インターロック編

⑮ 「インターロック」の縫い方

 「インターロック」の縫い目について 41

 「インターロック」の縫い方 42

メンテナンス編

⑯ メンテナンスについて

 針の交換 44

 メスの交換 45

 掃除と注油について 45

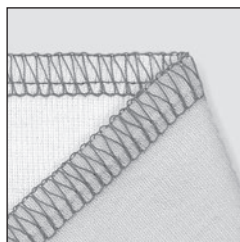
 「ルーパースレッダーの使い方」 45

 トラブルシューティング 46

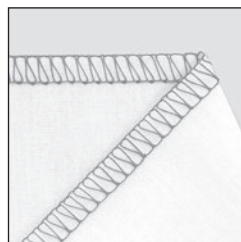
基本縫い一覧

このミシンでは下記の縫い方を基本としたソーイングをお楽しみいただけます。

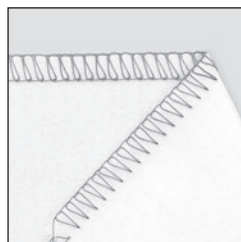
オーバーロック



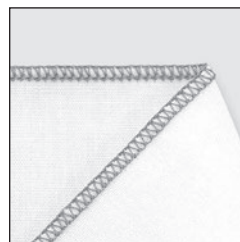
2本針4本糸ロック



1本針3本糸ロック



1本針2本糸ロック

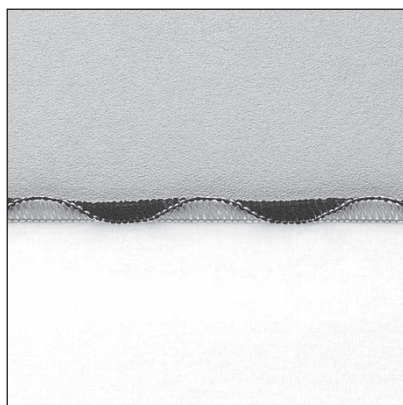


標準巻きロック



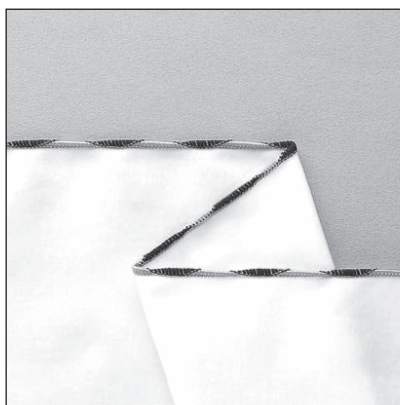
変形巻きロック

ウェーブロック



ウェーブロック

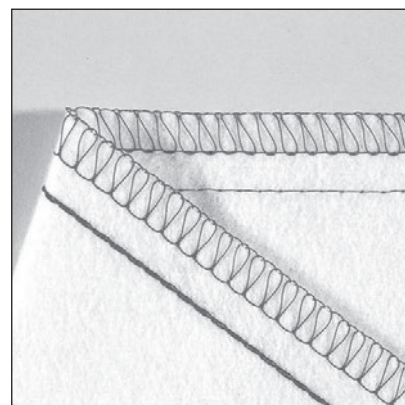
縫い目に波状模様を演出。ラム糸やウーリー糸、飾り糸、その他さまざまな糸を使えばさらにデザイン効果UP。



巻きウェーブロック

ジョーゼットやオーガンジーなどの薄地の縁をひと折りしながら細くウェーブ縫いしていきます。

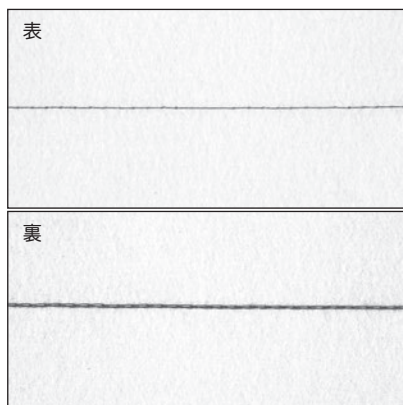
インターロック



5本糸インターロック

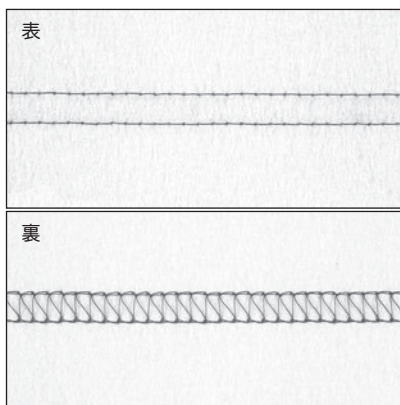
(1本針3本糸オーバーロック + チェーンステッチ)
シャツやブラウスの脇縫いに多用される、丈夫なステッチです。

チェーンステッチ / カバーステッチ



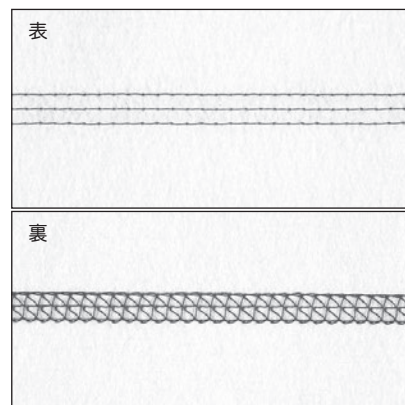
チェーンステッチ

下糸(裏側)が鎖状になっているため伸びに強く、スラックスの脇や股上の縫い合わせに最適。襟ぐりの飾りステッチとしても活躍します。



カバーステッチ

飾り縫いをはじめ、袖口縫いや裾上げなどに便利。さまざまな用途で幅広く使えます。



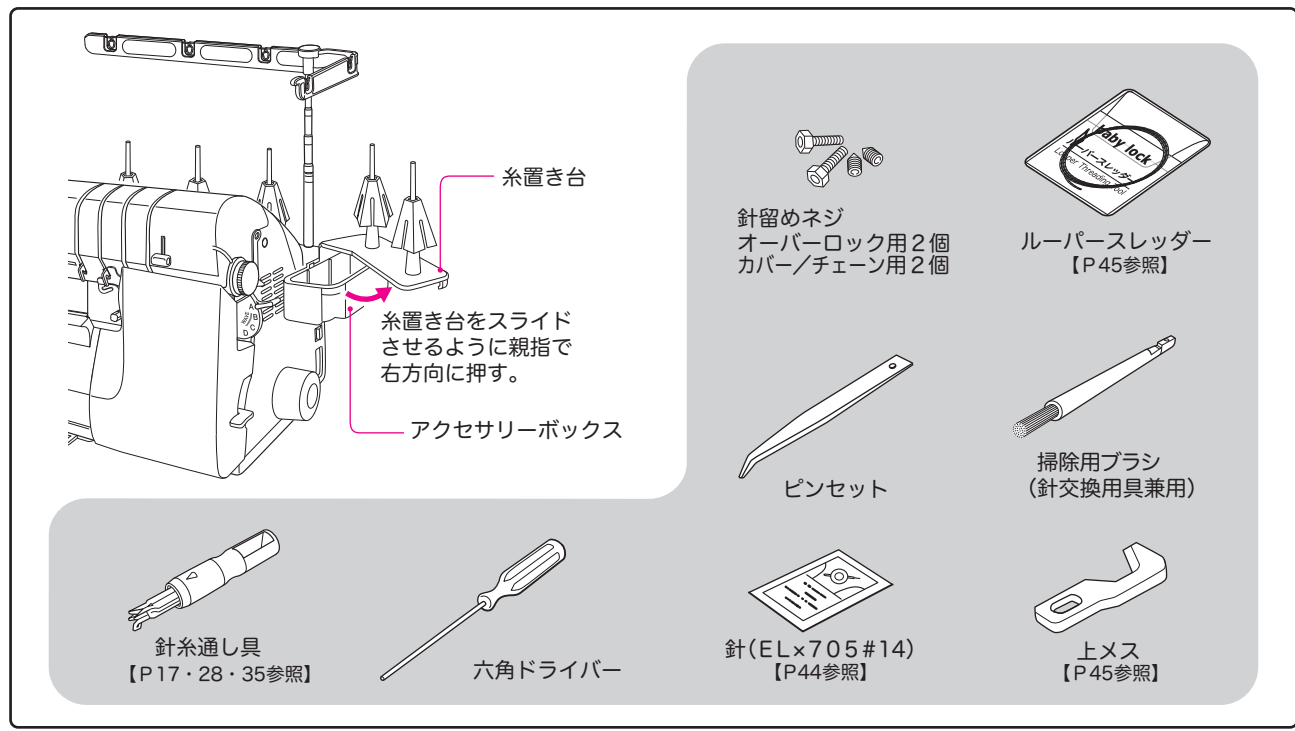
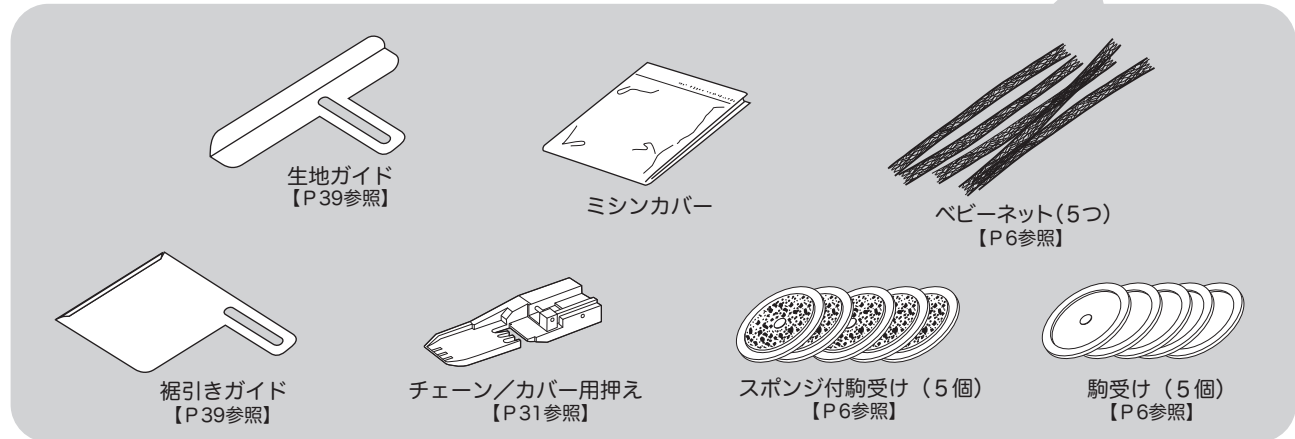
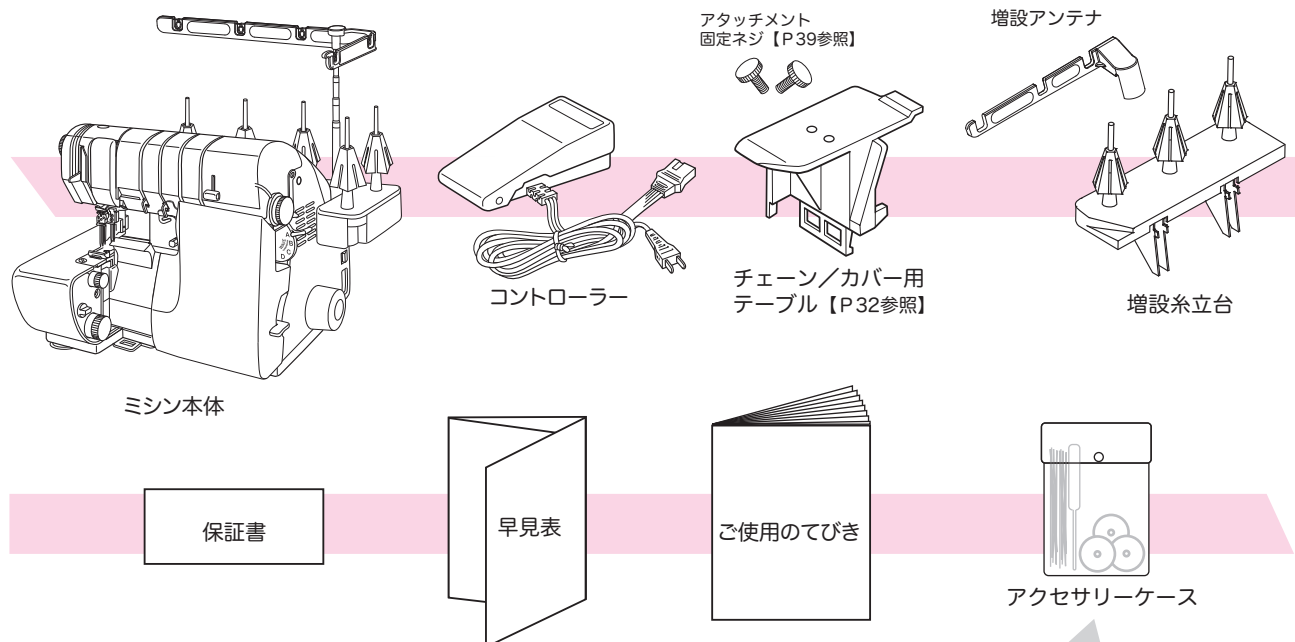
トリプルカバーステッチ

飾り縫いや裾上げ、ゴム入れなどが楽しめるトリプルカバーステッチです。

1

ご使用になる前に

下記のものが入っていることを必ずご確認ください。

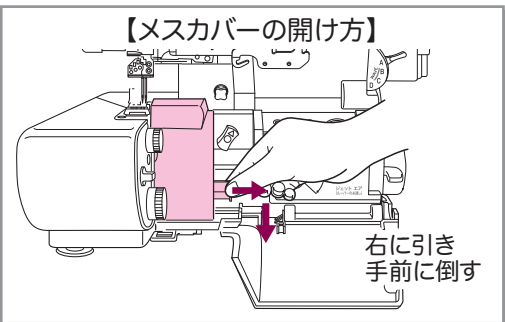
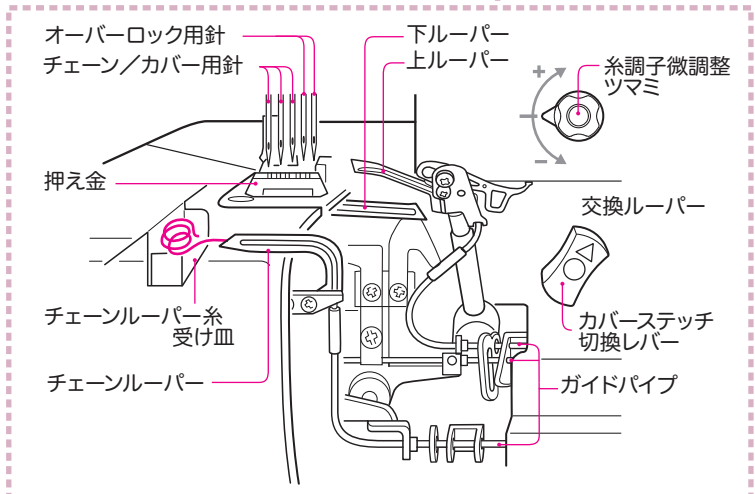
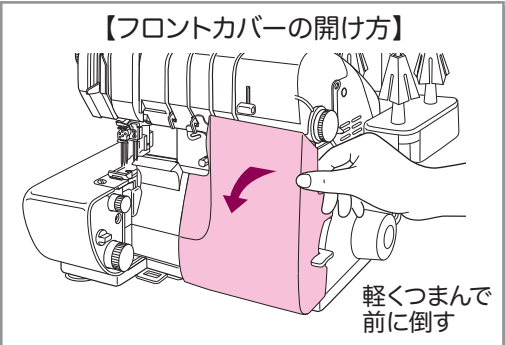
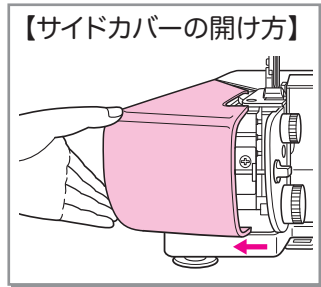
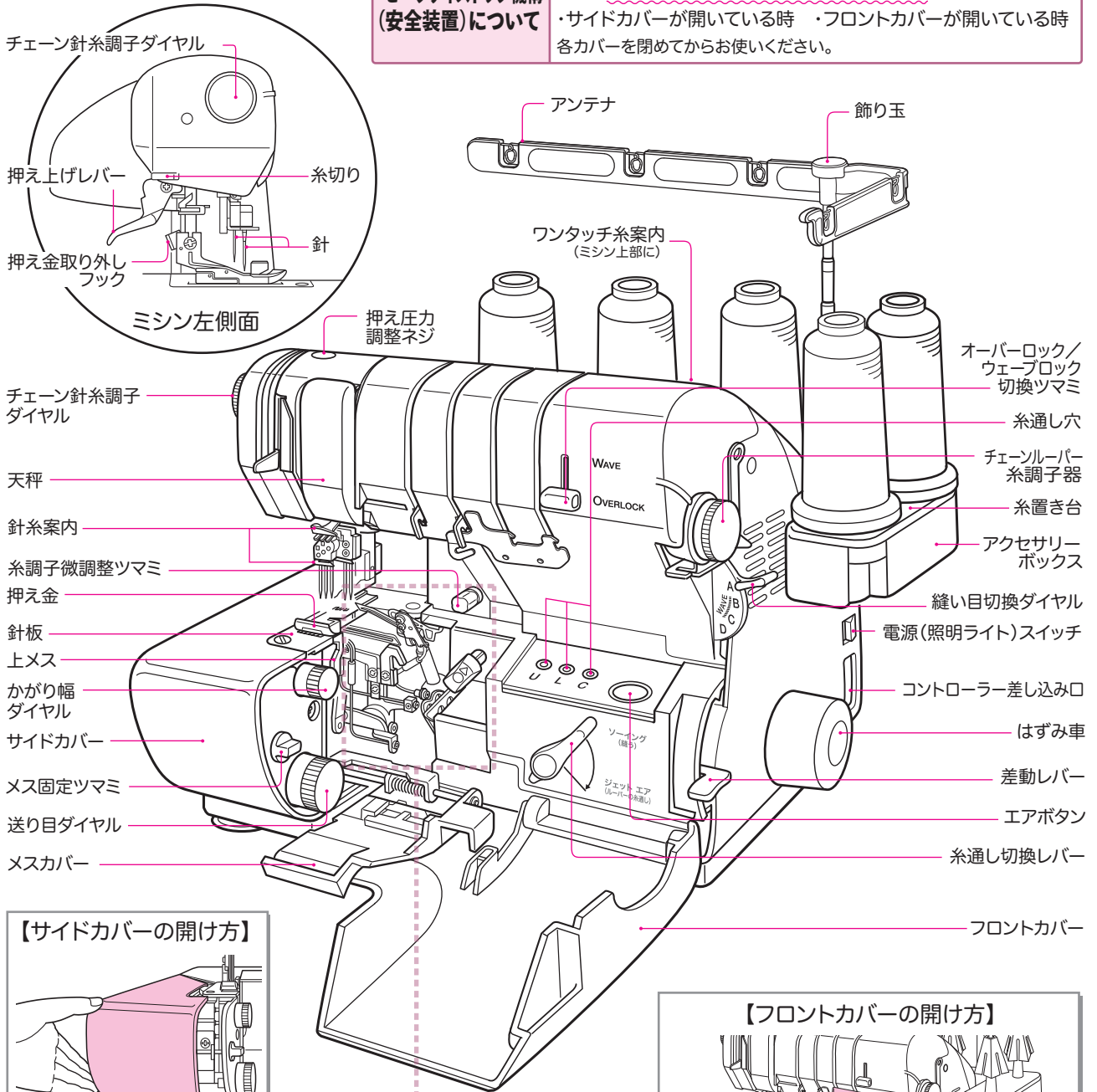


2

各部の名称

セーフティストップ機構 (安全装置) について

このミシンには、誤作動を防止するために「安全装置」が装備され、下記
 の時はコントローラーを踏んでもミシンが動かないようになっています。
 ・サイドカバーが開いている時 ・フロントカバーが開いている時
 各カバーを閉めてからお使いください。



3

縫うための準備

縫う前には下記の作業が必要です。



注意

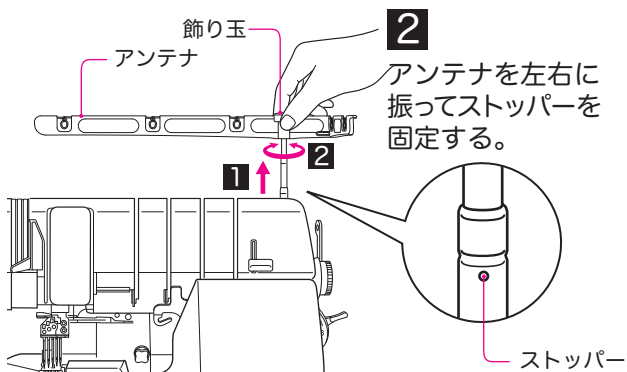
火事の原因になります。

- ◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
- ◆コントローラーの上に物を乗せない。

3-1 アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上へいっぱい引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。

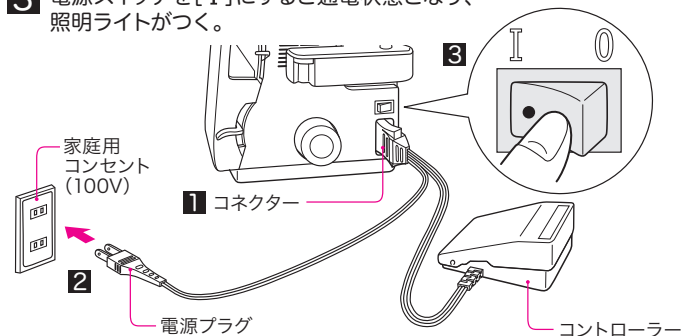


3-2 コントローラーのセット

1 コントローラーのコネクターをミシン本体に差し込む。

2 電源プラグを家庭のコンセントに差し込む。

3 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

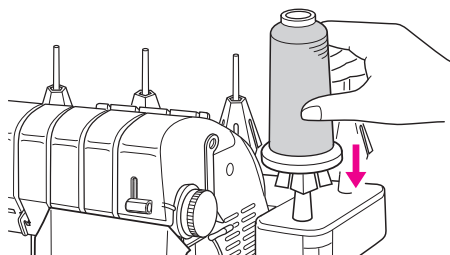


スピードの調節

ミシンの縫い速度はコントローラーを強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

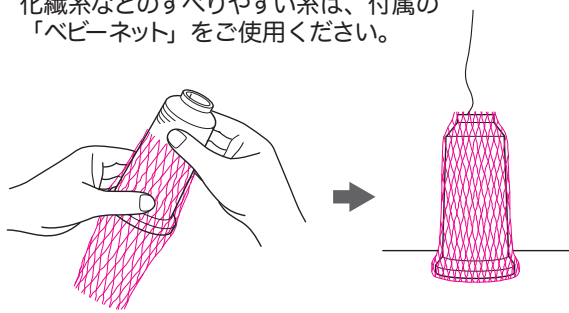
3-3 糸について

テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているさまざまな糸を使用することができます。通常は薄地には#80~100の細めの糸を、縫い合わせには#50~60の太めの糸を使います。



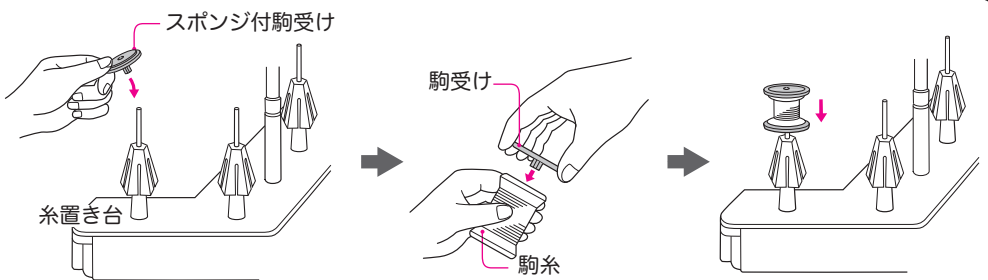
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



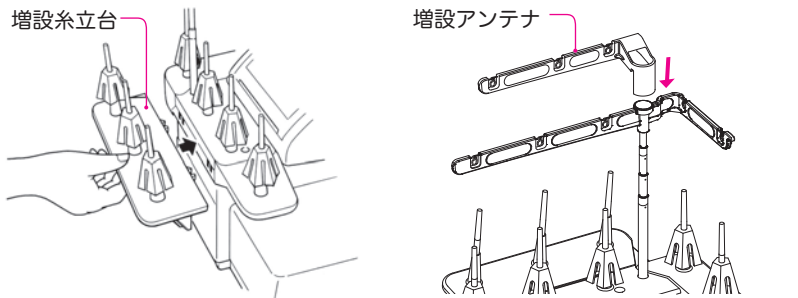
■駒受けの使い方

普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。



■増設糸立台／増設アンテナの使い方

予備の糸の一時的な置き場所として、またウェーブロックなどで縫い目にボリュームを与えたいときに同じ糸道に2本以上の糸を通すことができますが、そんな時に増設すると便利です。



4

試し縫い

縫いによって縫い始めや縫い終わりの方法が違います。

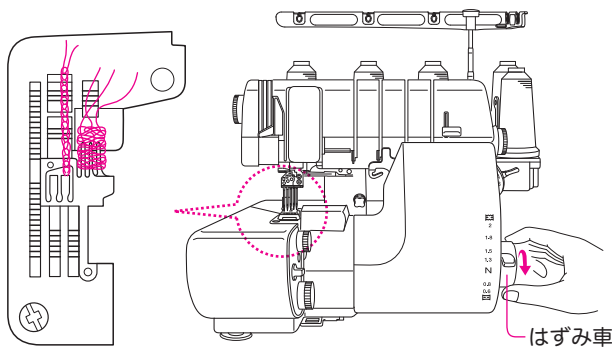
注意 ケガをする恐れがあります。針・ルーパー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。

4-1 縫い始め

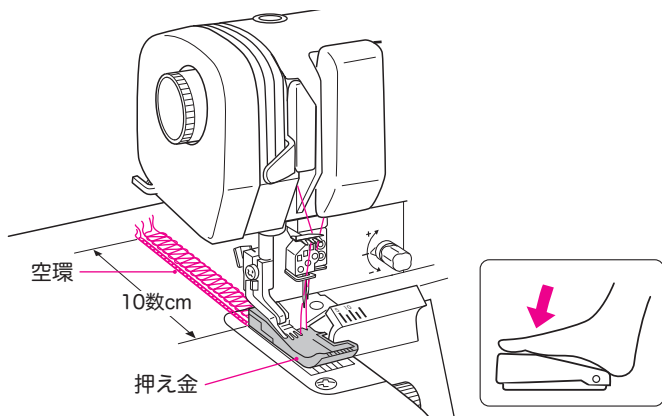
※工場出荷時は5本糸インターロック(P40)になっています。

オーバー/ウェーブ/インターロックの場合

1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。

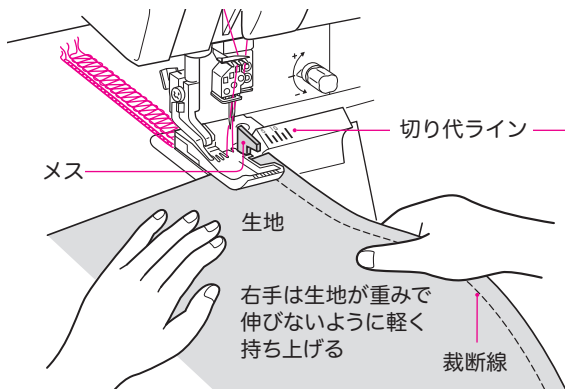


2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。



3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



ワンポイント

生地によっては、バイヤスやカーブを縫うときに生地がはずれやすい場合があります。そのようなときは以下のことをお試しください。

- ①メスから針落ち位置の間で生地が直線になるように手で補助します。
- ②かがり幅を広くします。

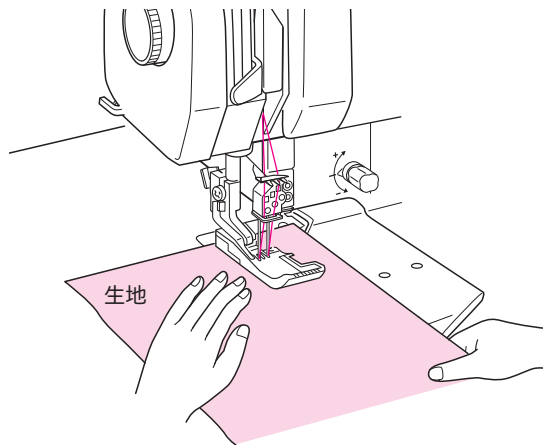
4 コントローラーを踏んで縫い始める。

(注) まち針が刺さったまま気づかず縫い進めるとメスに触れるとメスの切れ味が悪くなったり、まち針が折れて危険です。布の仮止めにはソーイングクリップをお勧めします。

チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの場合

1 押え金を上げ、針落ち位置まで生地を入れる

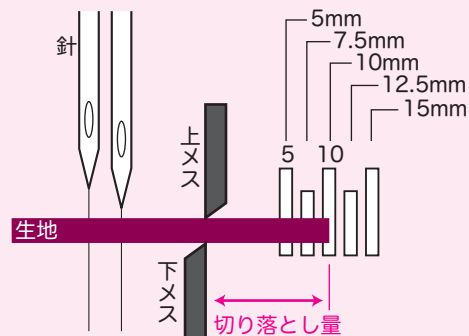
2 押え金を下げる。「はずみ車」を手前方向に手で数回まわしてからコントローラーを軽く踏み、続いて生地を入れる。送り目を好みの数字(4~3)にして縫い始める。



最初は送り目“4”から縫い始めます。縫い始めれば、好みによって送り目を“3”以下にすることもできますが、使用する生地や糸の種類、糸調子の取り方によっては、送り目が小さければ小さいほど、目飛びや糸切れする場合があります。目飛びや糸切れがしたら、送り目を“4”に戻してみましょう。

切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、10の線に合わせて約10mm切り落としします。

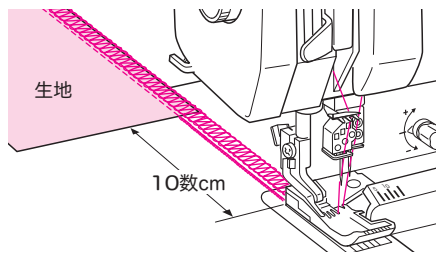


切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

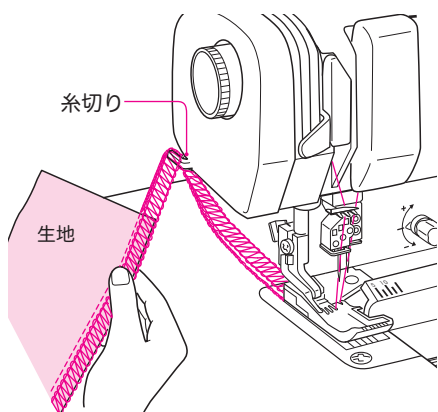
4-2 縫い終わり

オーバー／ウェーブ／インターロックの場合

- 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約10数cm出しておく。



- 最後に「糸切り」で「空環」を切る。

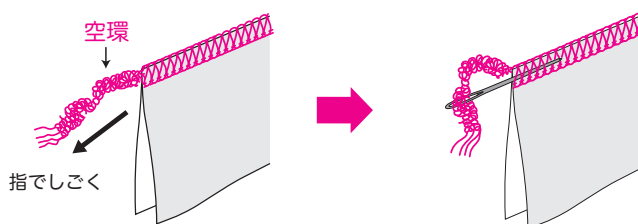


「空環」の始末

縫い終わった後の「空環」の始末には次のような方法があります。

〈とじ針を使う方法〉

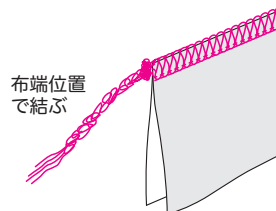
「空環」の糸を指でしごいたあと、とじ針で裏の縫い目に2~3cm通す。空環が短い場合は、先にとじ針を縫い目に通し、その後空環をとじ針の穴に通して引き抜く。



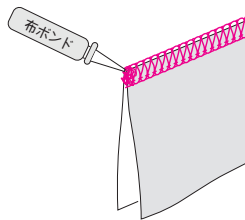
他の方法でも空環を始末できます

指でしごいた「空環」を布端位置で結ぶ。

※ギャザー寄せをした場合は、ギャザーが戻らないためにも「空環」を結んでおくといいでしょう。

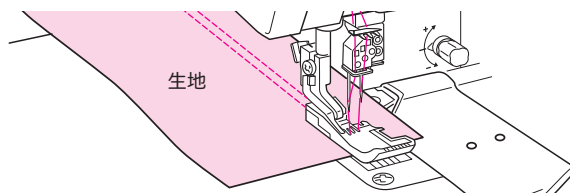


「空環」を布端で切って布ボンドで固める。



チェーン／カバー／トリプルカバーステッチの場合

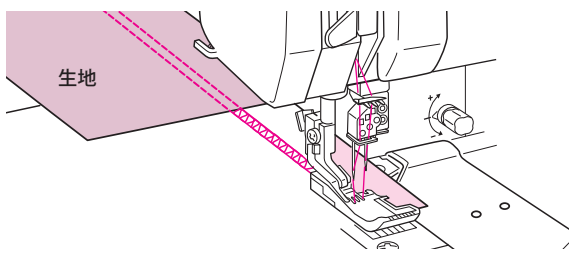
- 生地の端まで縫い終わったら、再び送り目を"4"にする。



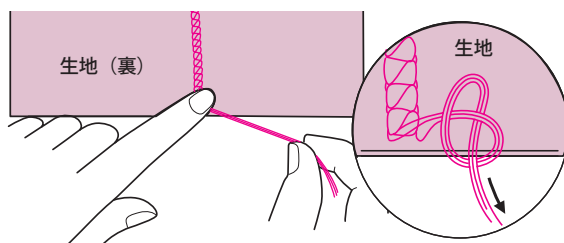
- 「空環」を数cm出してから切る。

※ 空環は、布地や糸の種類、糸調子の取り方によって出にくい場合もあります。その場合は下記のようにします。

- 生地の端まで縫い終わったら、押え金を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。



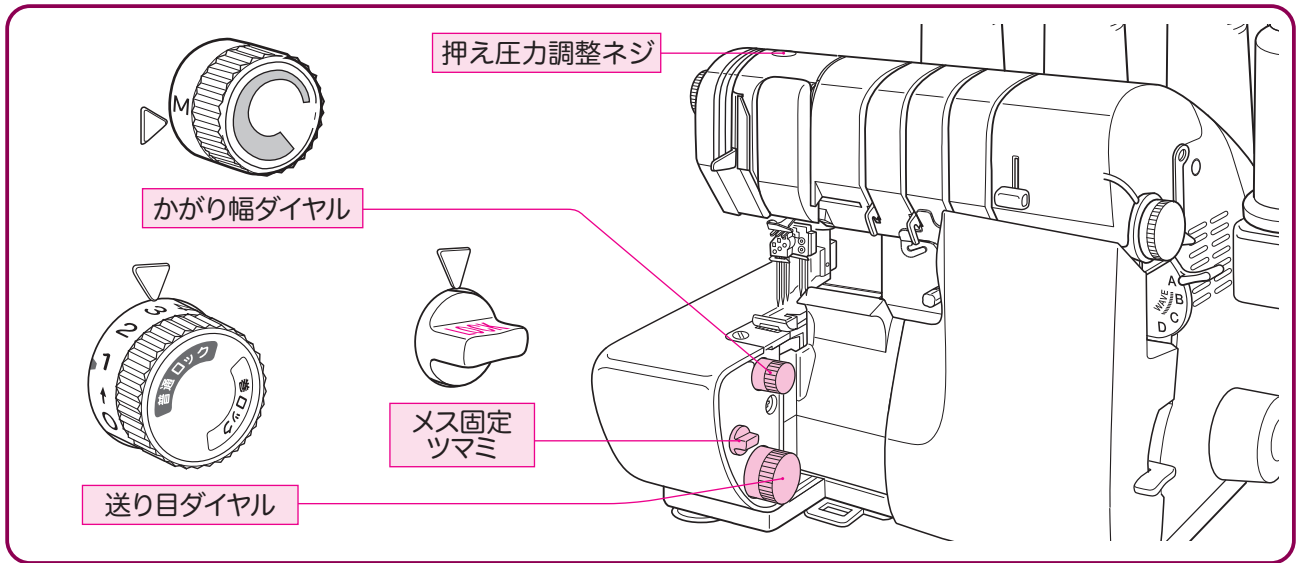
- 表に出ている糸を抜き、裏側ですべての糸をまとめて結ぶ。



5

縫い目調節とメスの固定

生地の種類や用途に応じて、かがり幅や送り目の調節を行うとよりきれいな仕上がりになります。



5-1 かがり幅(縫い目の幅)の調節(オーバーロック/ウェーブロックのみ)

4本糸ロックおよび左針を使用した時の3本糸・2本糸ロック
(上段の大きい数値で合わせます)

5.5mm幅 ~ 7.5mm幅

右針を使用した時の3本糸・2本糸ロック
(下段の小さい数値で合わせます)

3.0mm幅 ~ 5.0mm幅

5-2 送り目(縫い目長さ)の調節

0.75~4mmの範囲で調節します。

送り目

普通ロック側

- 普通ロック (オーバーロック/ウェーブロック)
- チェーンステッチ
- カバーステッチ
- トリプルカバーステッチ
- インターロック

巻ロック側

- 巻きロック (オーバーロック/ウェーブロック)

ワンポイント

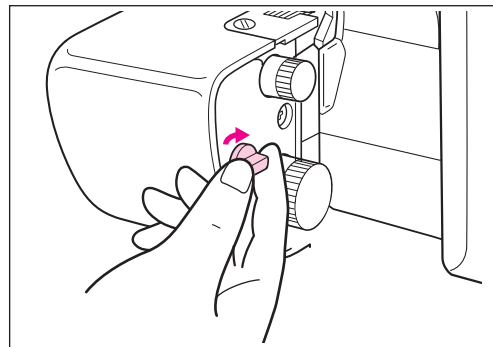
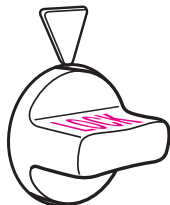
この位置は0.75mmを示します。

普通ロック側

巻ロック側

5-3 メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メス固定ツマミを【LOCK】側にしてください。メスが固定されて動かなくなります。



5-4 押え圧力の調整

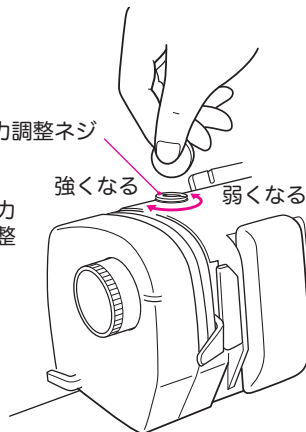
滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調整したほうが縫いやすい場合があります。

このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合わせて調整されていますので、普段はあまり調整する必要はありません。

押え圧力調整ネジ

コインなどで「押え圧力調整ネジ」を回して調整してください。

強くなる 弱くなる



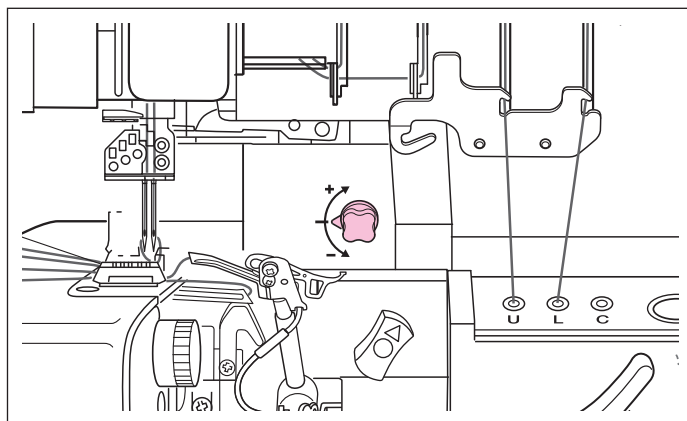
5-5 糸調子微調整ツマミ

このミシンはオーバーロックとウェーブロックに関しては糸調子を自動で調節しますが、生地や糸によっては、糸調子微調整ツマミを回して縫い目を整えた方が良い場合があります。

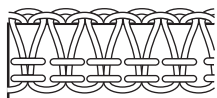
ワンポイント

特に巻きロックで送り目を0.75に設定した時、糸調子がゆるむ場合があります。(生地や糸にもよります) その場合は糸調子微調整ネジを「+」方向に締めて、美しい縫い目に調整してください。

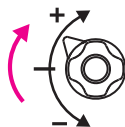
※カバーステッチの糸調節についてはP36～38を参照



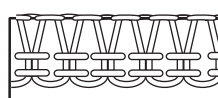
バランスのとれた美しい縫い目



糸調子がゆるい場合



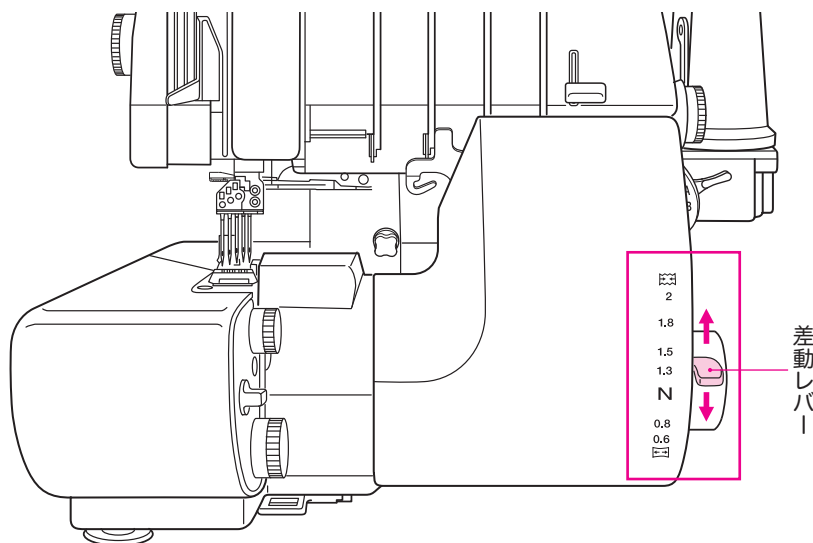
糸調子が強い場合



6

差動送り

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「差動レバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアースカートのヘムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



	伸びやすい生地		縮みやすい生地
生地	ニット地、ジャージ、メリヤス、 その他バイヤス部分等	織布	ジョーゼット、サテン、 リネン、ローン等
差動レバー	N → 1.3 ~ 2	N	N → 0.8 ~ 0.6
差動送り使用前後の縫い目比較			

【ギャザーの寄せ方】

ギャザーを寄せながら縫うことができます。

- ・差動レバーを[2]にします。
※必要に応じて1.3~2の間で調整してください。
- ・送り目調節ダイヤルを[4]に合わせます。



オーバーロック編

- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック / 1本針2本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻きロック

オーバーロックで縫う場合は下記の順番に従って切り換えてください。

1 針

- 側の針を付ける
- ・4本糸の場合は2本針
- ・その他は右針使用の1本針

注 1本針で縫う場合は、針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

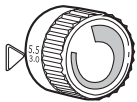
2 カバーステッチ切換レバー

- トリプルカバーステッチ
- カバーステッチ
- チェーンステッチ
- オーバーロック
- ウェーブロック
- インターロック



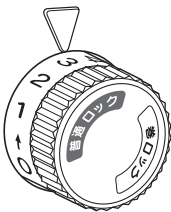
3 糸をかける (P13~18参照)

7 かがり幅ダイヤル



- ・4本糸の場合は上段の大きい数字で合わせる
- ・その他の場合は下段の小さい数字で合わせる

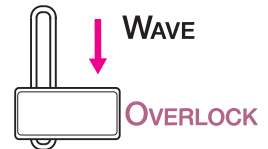
6 送り目ダイヤル



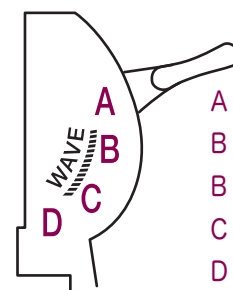
- ・4本糸、3本糸、2本糸ロックの場合は【普通ロック】側の数字で合わせる
- ・標準巻きロック、変形巻きロックの場合は【巻ロック】側の数字で合わせる

4

オーバーロック / ウェーブロック切換ツマミ
OVERLOCKに合わせる



5 縫い目切換ダイヤル

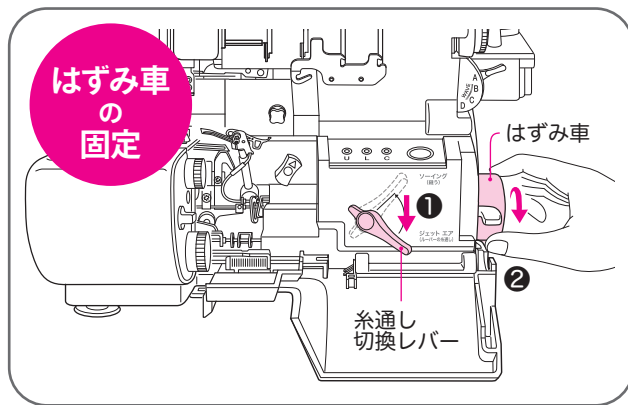


- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック
- B : 1本針2本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻きロック

7

「オーバーロック」の糸かけ

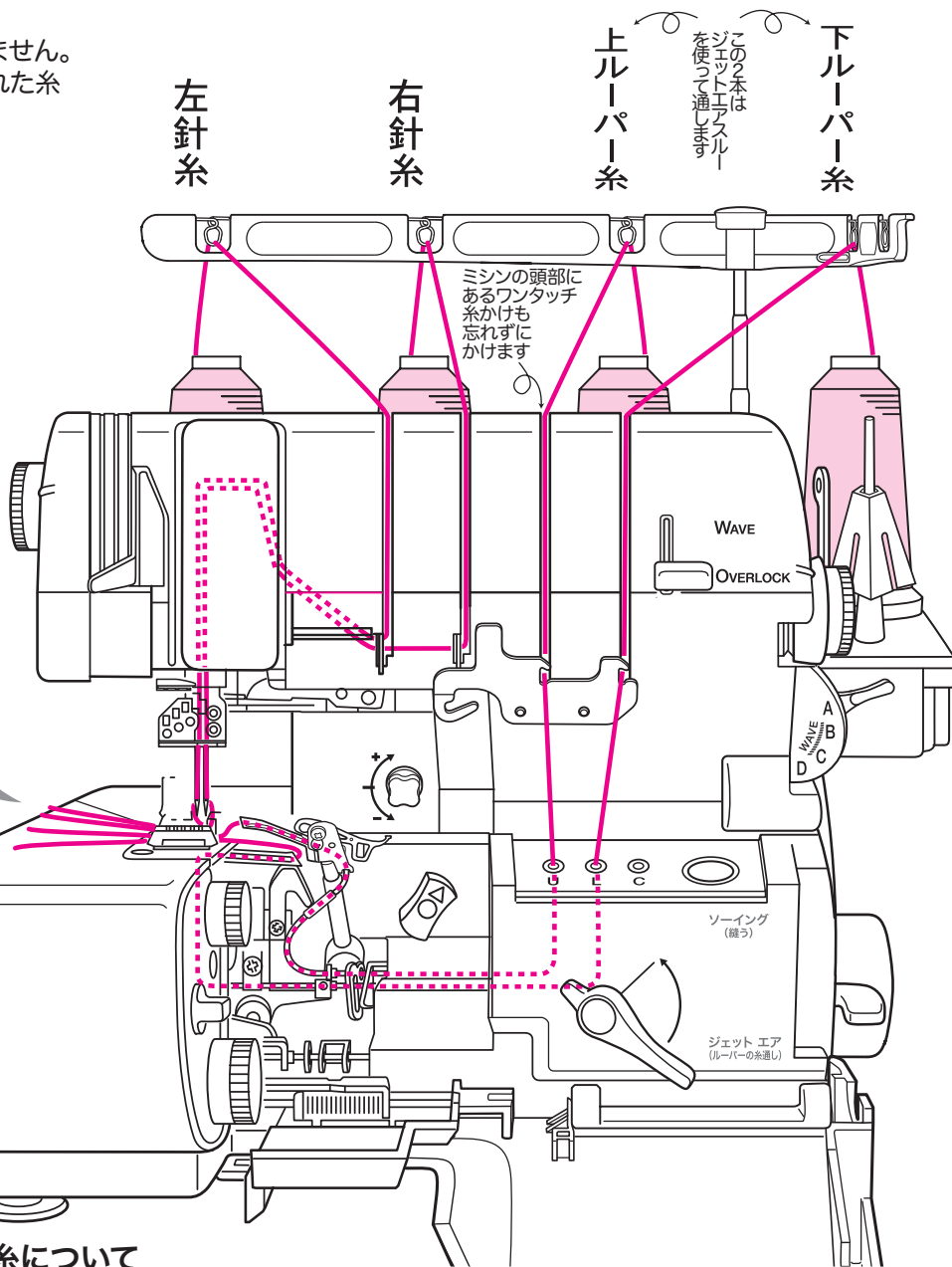
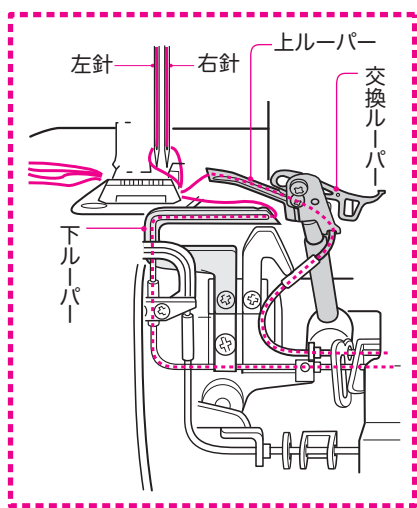
下ルーパー糸と上ルーパー糸をかける場合は、ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）を使用します。このジェットエアスルーを使用する前には必ず「はずみ車の固定」を行ってください（右ページ参照）。



糸かけ 全体図

どの糸からかけてもかまいません。糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

オーバーロック編



注目

※2本糸ロックの針糸のかけ方は右図と異なります。P21を参照ください。

注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

□使用する糸について

ルーパー糸には、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、金糸、極細毛糸など、糸道のパイプに無理なく入る糸であれば、市販されているほとんどの糸を使用することができます。

針糸には、通常スパン糸が使用されます。

また普通ミシンと違い、伸縮性のあるニット地等を縫う場合でも、水着やレオタードなどの特別な場合を除き、レジロン等の伸縮性のある糸を使う必要はありません。

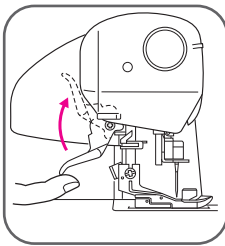
※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。

ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）の使い方

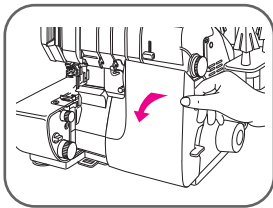
下ルーパーと上ルーパーの糸かけをするときは「ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）」を使います。ジェットエアスルーを使うときは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

ジェットエアスルーの「準備」

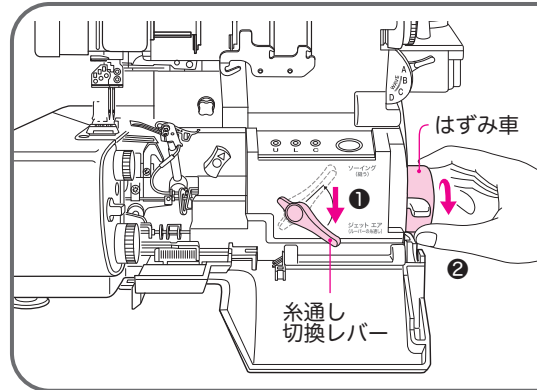
- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。



- 2 フロントカバーとメスカバーを開ける。



- 3 糸通し切換レバーを「ジェットエア」側へ下げ、カチッと音がるまではずみ車を回す。



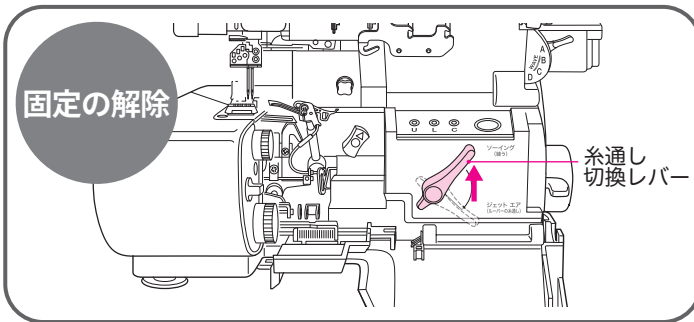
セットが完了するとはずみ車は回らなくなります。

はずみ車の固定

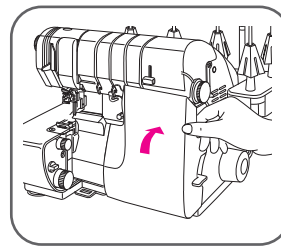
P15(下ルーパー糸)・P16(上ルーパー糸)にしたがって糸をかける

ジェットエアスルーの「解除」

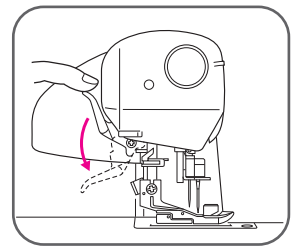
- 1 ルーパー糸をかけ終わったら、必ず糸通し切換レバーを「ソーイング」側へ上げる。



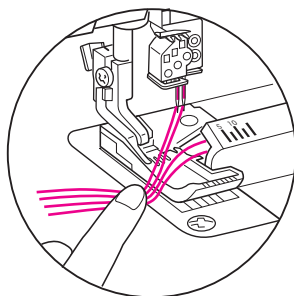
- 2 メスカバー、フロントカバーを閉める。



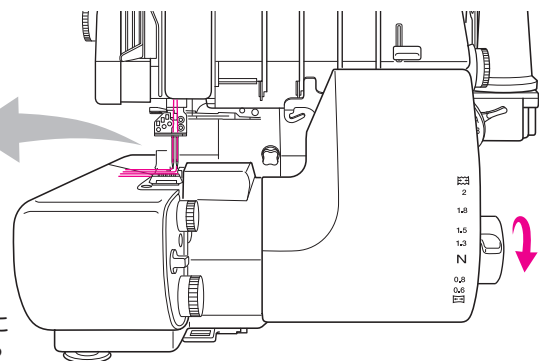
- 3 押え上げレバーで押え金を下げる。



オーバーロックで縫う場合は、針糸を含めすべての糸をかけ終わったら、最後に糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



通した糸は押え金の上または下から左側にそれぞれ10cm位のところで切りそろえる



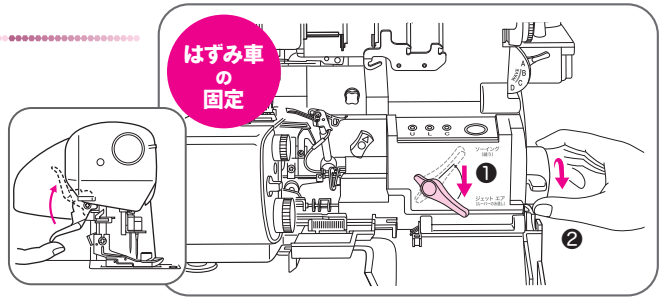
「オーバーロック」の糸かけ

下ルーパー糸

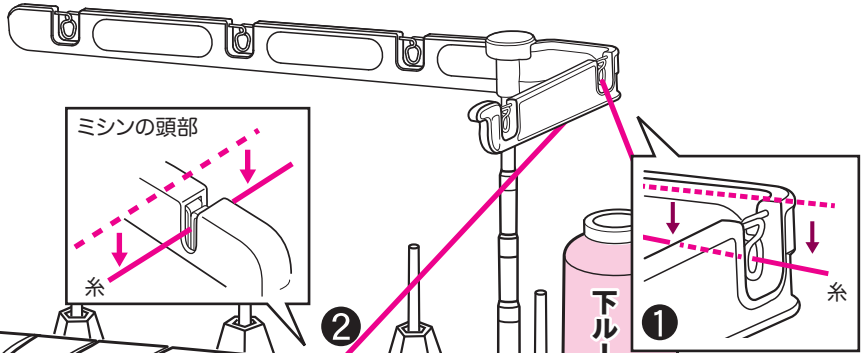
(はずみ車の固定)

1 糸かけの前に必ず「ジェットエアスルーの準備」(前ページ参照)を行う。

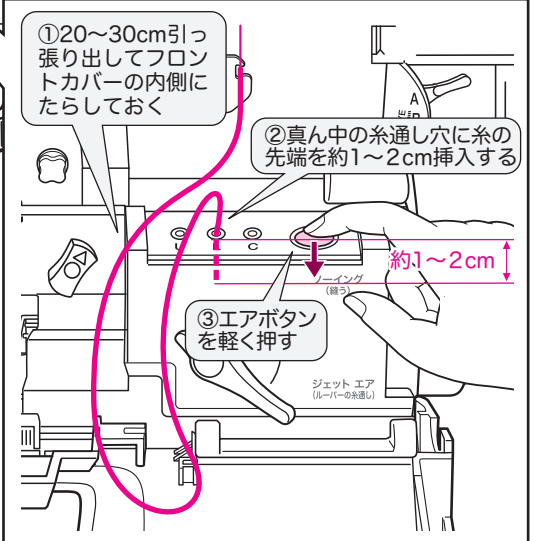
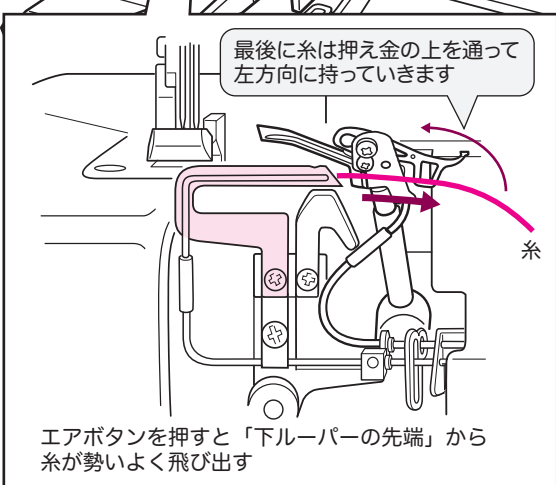
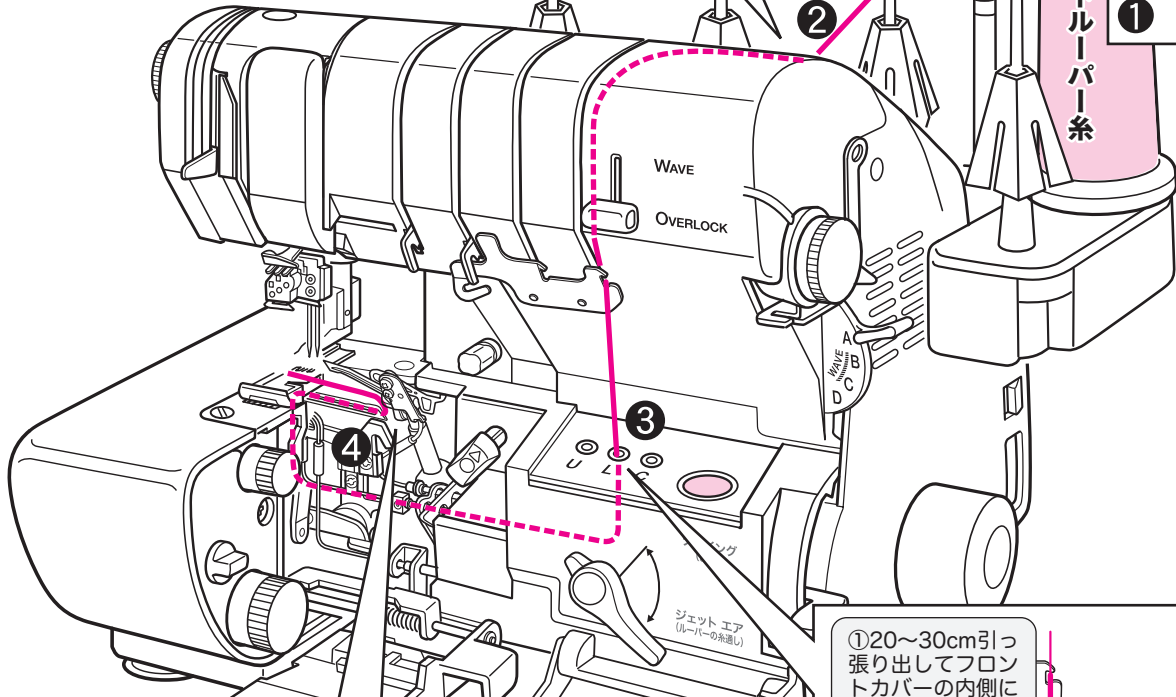
重要



2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。



下ルーパー糸



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



3 「固定の解除」(前ページ参照)をしてから縫い始める。**重要**

「オーバーロック」の糸かけ

上ルーパー糸

1 カバーステッチ切換レバーを右側に倒す。

トリプルカバーステッチ
カバーステッチ
チェーンステッチ

オーバーロック
ウェーブロック
インターロック



重要

2の「ジェットエアスルーの準備」を行う前に必ず**1**を行うこと

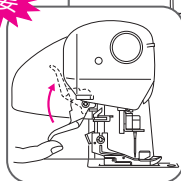
3 右記の番号にしたがって糸をかけていく。

上ルーパー糸

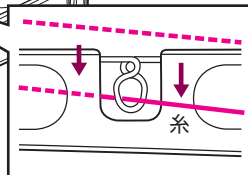
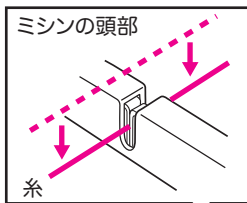
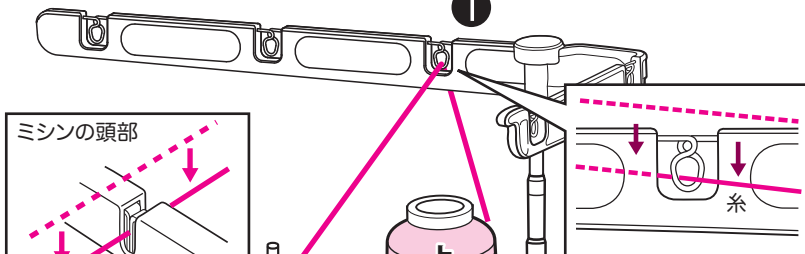
2 糸かけの前に必ず
(はずみ車の固定)
「ジェットエアスルーの準備」
(14ページ参照)を行う。

はずみ車の固定

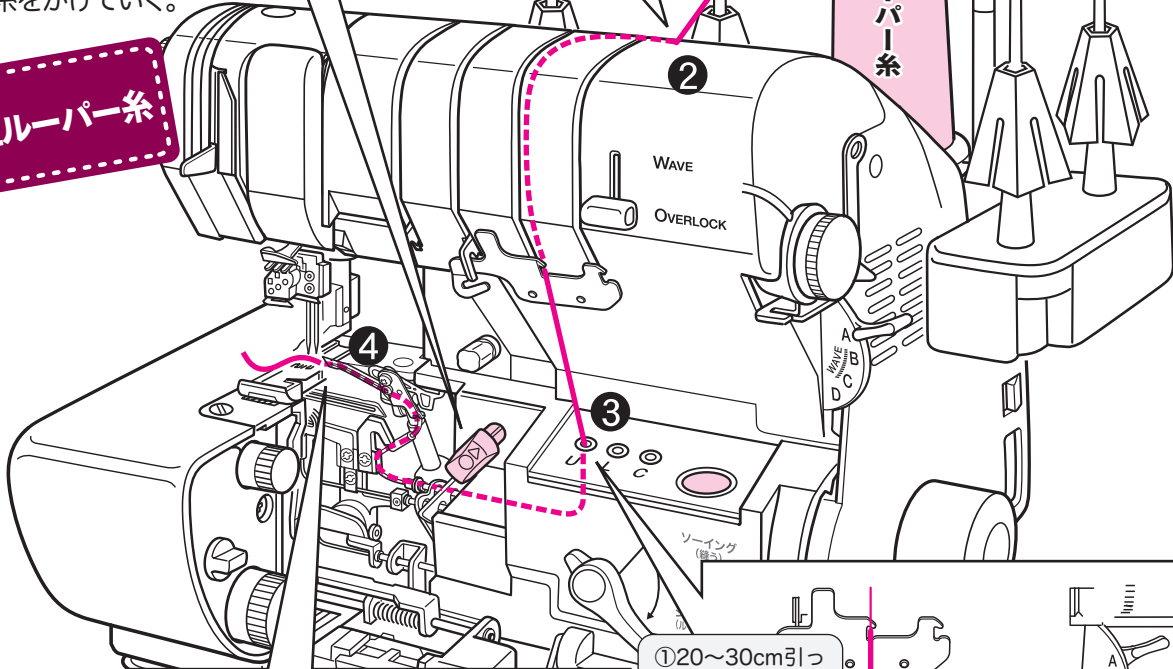
重要



1

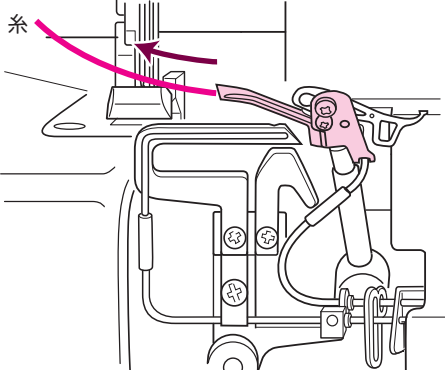


オーバーロック編



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



エアボタンを押すと「上ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出す

ワンポイント

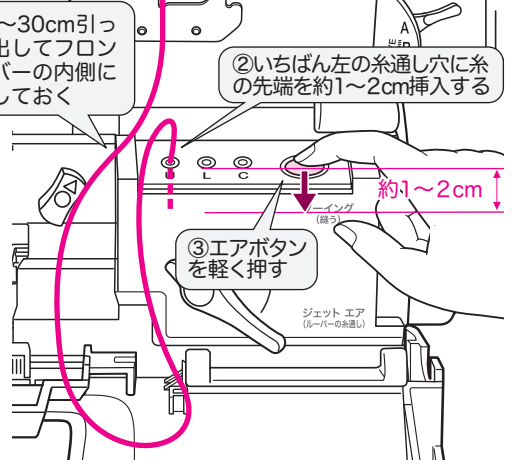
糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。

①20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

②いちばん左の糸通し穴に糸の先端を約1~2cm挿入する

③エアボタンを軽く押す

約1~2cm



ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



【付属】ルーパースレッダー (糸通し具兼掃除具)
※使い方は45ページ参照

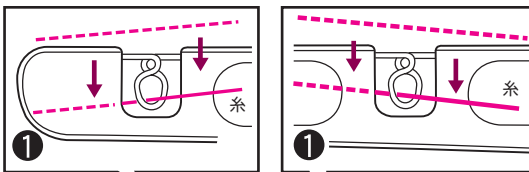
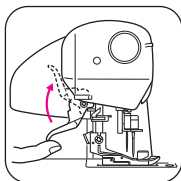
4 「固定の解除」(14ページ参照)をしてから縫い始める。

重要

「オーバーロック」の糸かけ

右針糸・左針糸

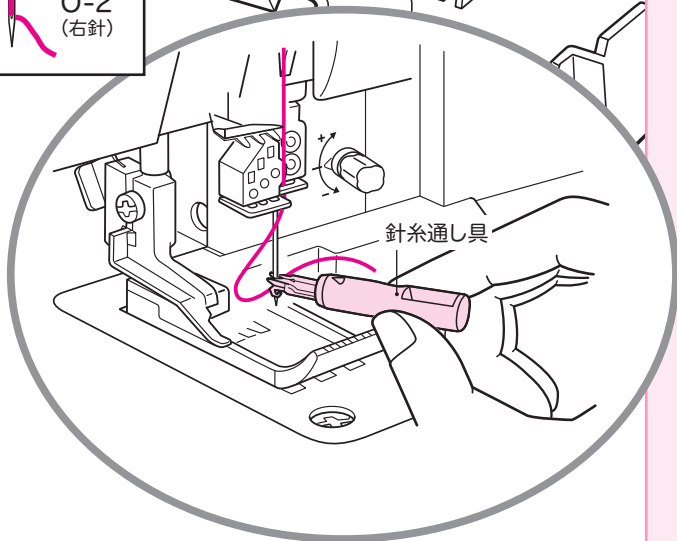
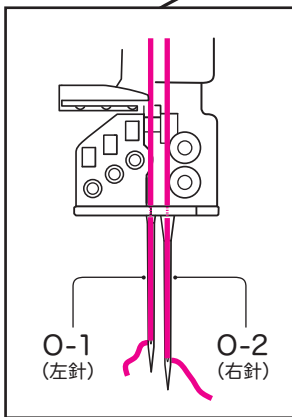
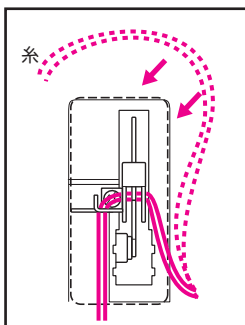
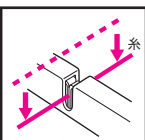
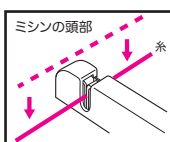
1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



2 右記の番号にしたがって糸をかけていく。



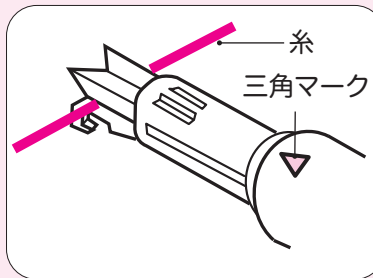
右針糸
左針糸



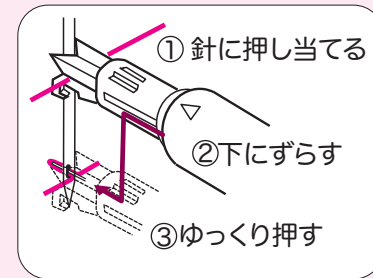
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

(1) 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



(2) そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にならず、針穴まで来たらゆっくりと押し



注意

ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

注目

※2本糸ロックの針糸のかけ方は、上記と異なります。P21を参照ください。

「オーバーロック」の糸かけ

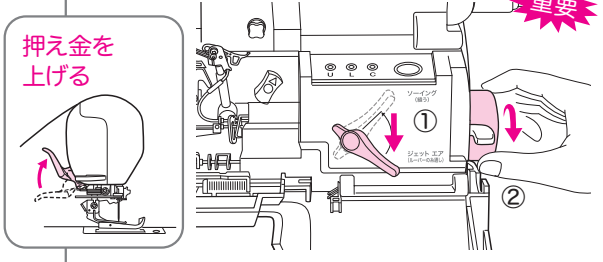
太い糸のかけ方

太い糸のかけ方 (極細毛糸や刺しゅう糸など)

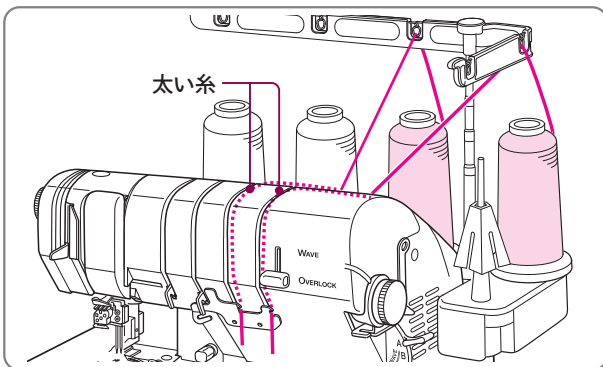
【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

上・下ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

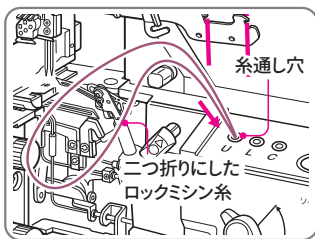
- 1** 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P14参照)



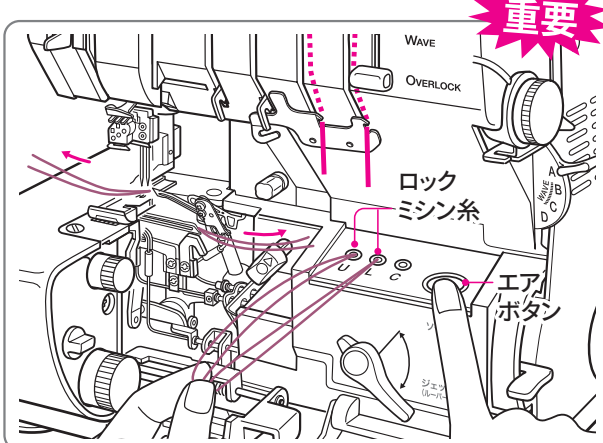
- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P15、16参照)



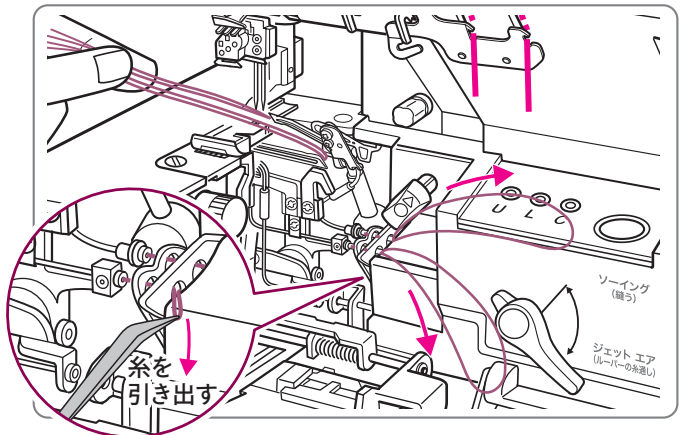
- 3** 90cmぐらいのロックミシン糸を二つ折りにし、図のようにセットする (上ルーパーも同様にする)。



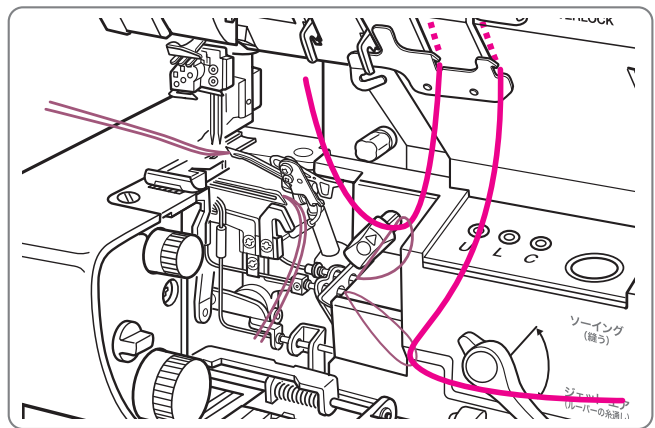
- 4** 糸がすべて通り抜けてしまわないように二つ折りにした部分を指で持ったままエアボタンを押す。
「固定の解除」を行う (P14参照)



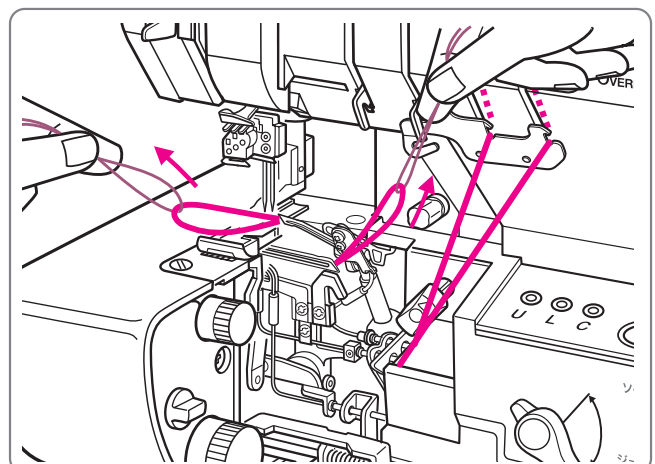
- 5** エアスルーで通したロックミシン糸をパイプの途中からピンセットで引き出す(この時ルーパーの先から出ているロックミシン糸は抜けないように手で持っておく)。



- 6** 太い糸をロックミシン糸の輪っかに10cmほど通して引っかける。



- 7** 太い糸がパイプの中に入っているかを確認しながら、ルーパーから出ているロックミシン糸をゆっくりと引き出す。

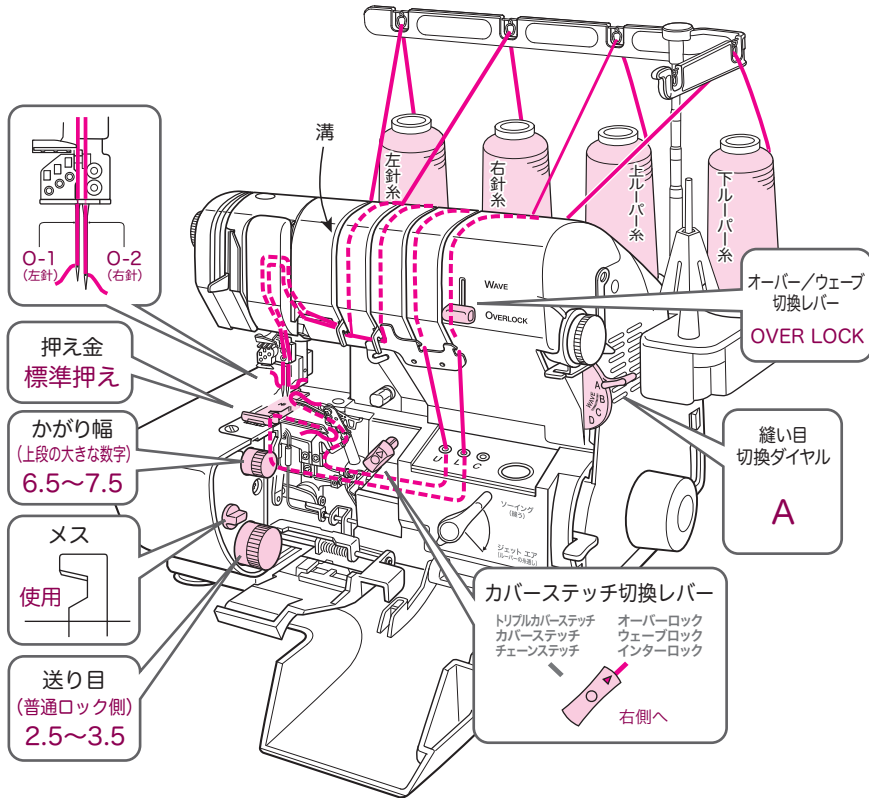


8

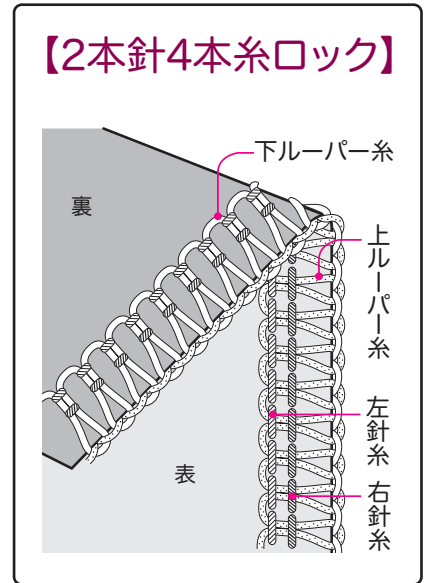
「オーバーロック」の縫い方

オーバーロックでは2本針4本糸・1本針3本糸
 ・1本針2本糸・標準巻きロック・変形巻きロック
 の5種類の基本縫いができます。

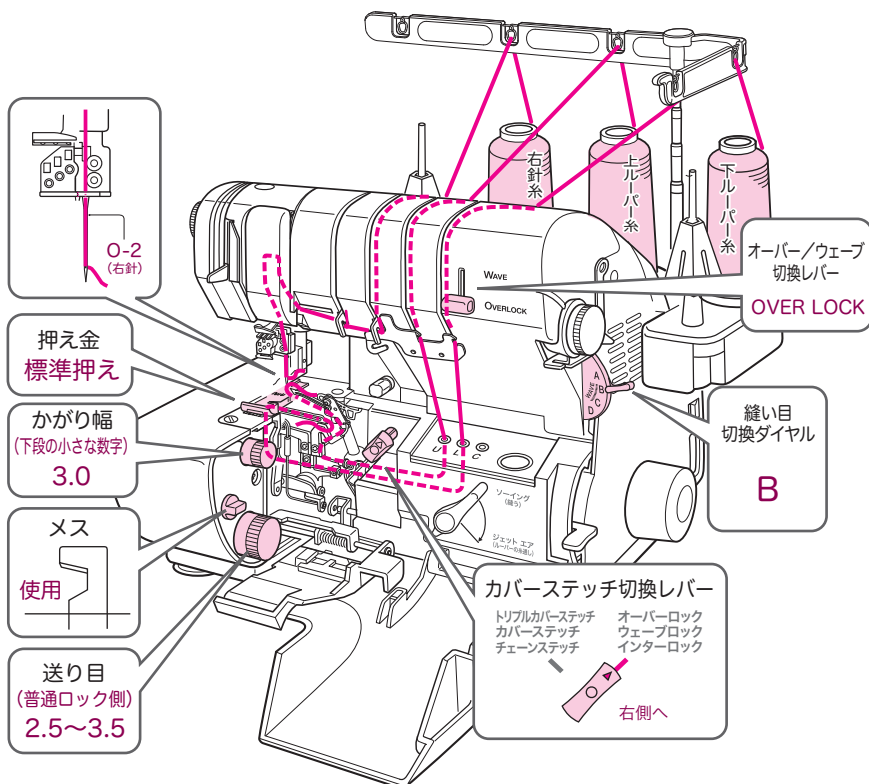
2本針4本糸ロックの縫い方



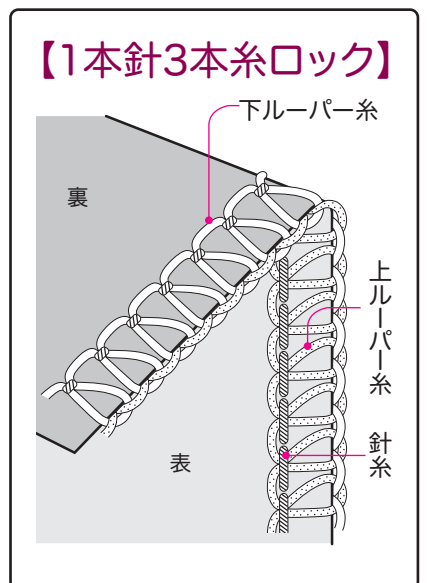
【2本針4本糸ロック】



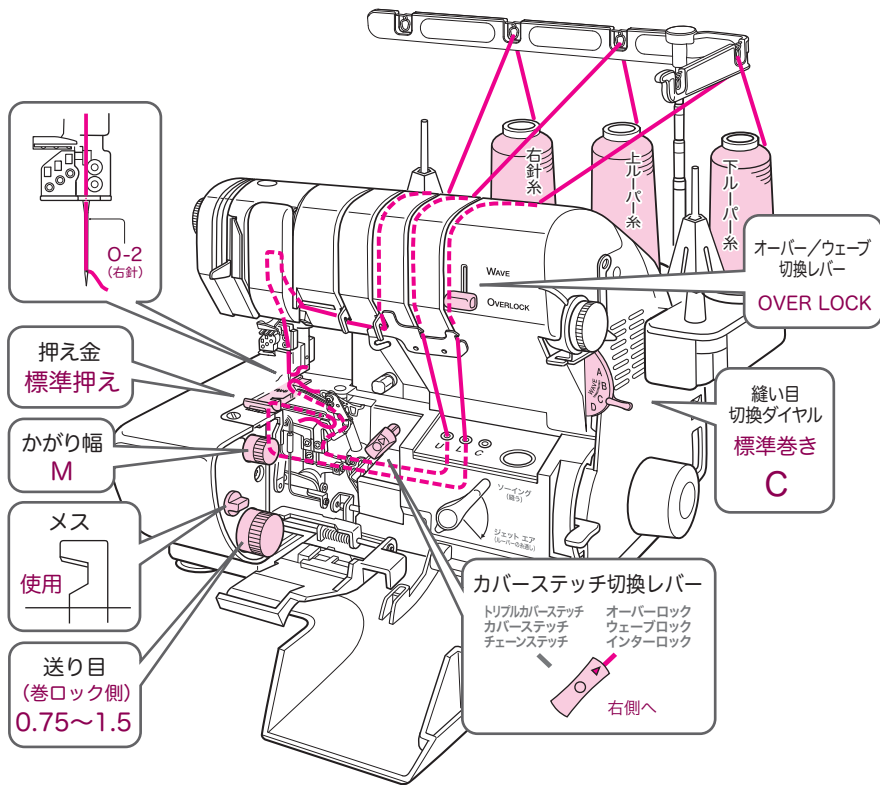
1本針3本糸ロックの縫い方



【1本針3本糸ロック】

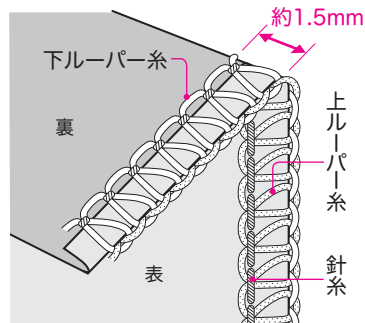


巻きロック(標準)の縫い方



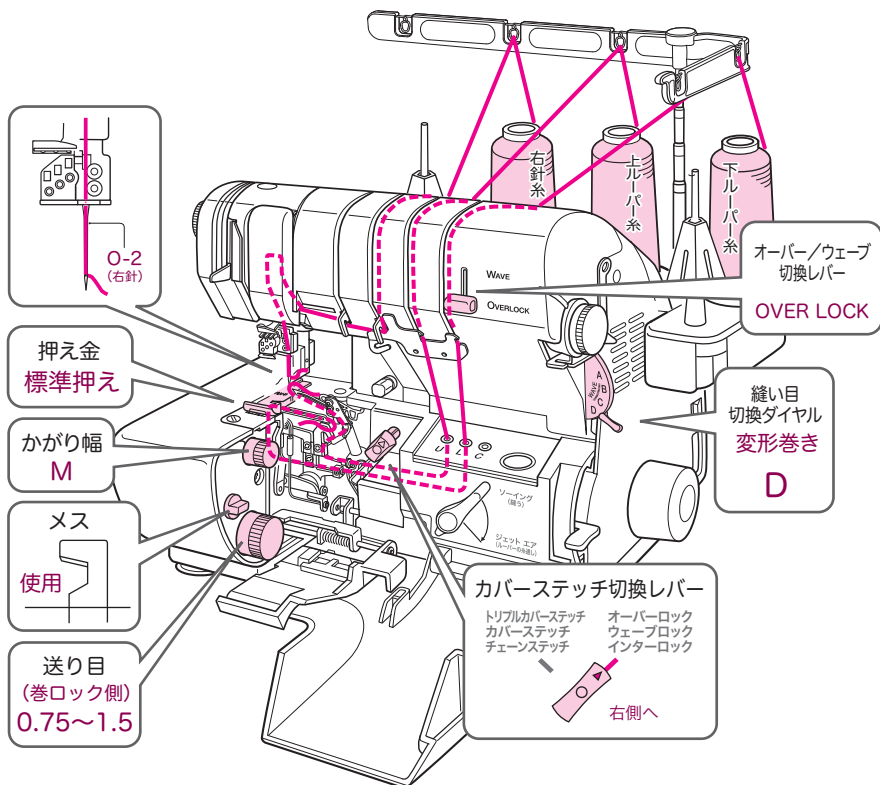
【標準巻きロック】

布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに上げることができます。



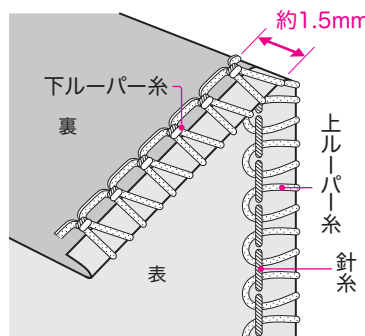
オーバーロック編

巻きロック(変形)の縫い方



【変形巻きロック】

上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。上ルーパー糸にウーリー糸を使用すると、細かい縫い目が強調され印象的です。



※記されている数字は標準値です。生地や糸、または用途や好みによって微調整を行ってください。

「オーバーロック」の縫い方

1本針2本糸ロック

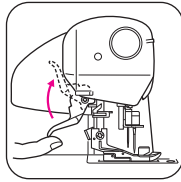
注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままどミシンが急に動くなど危険です。

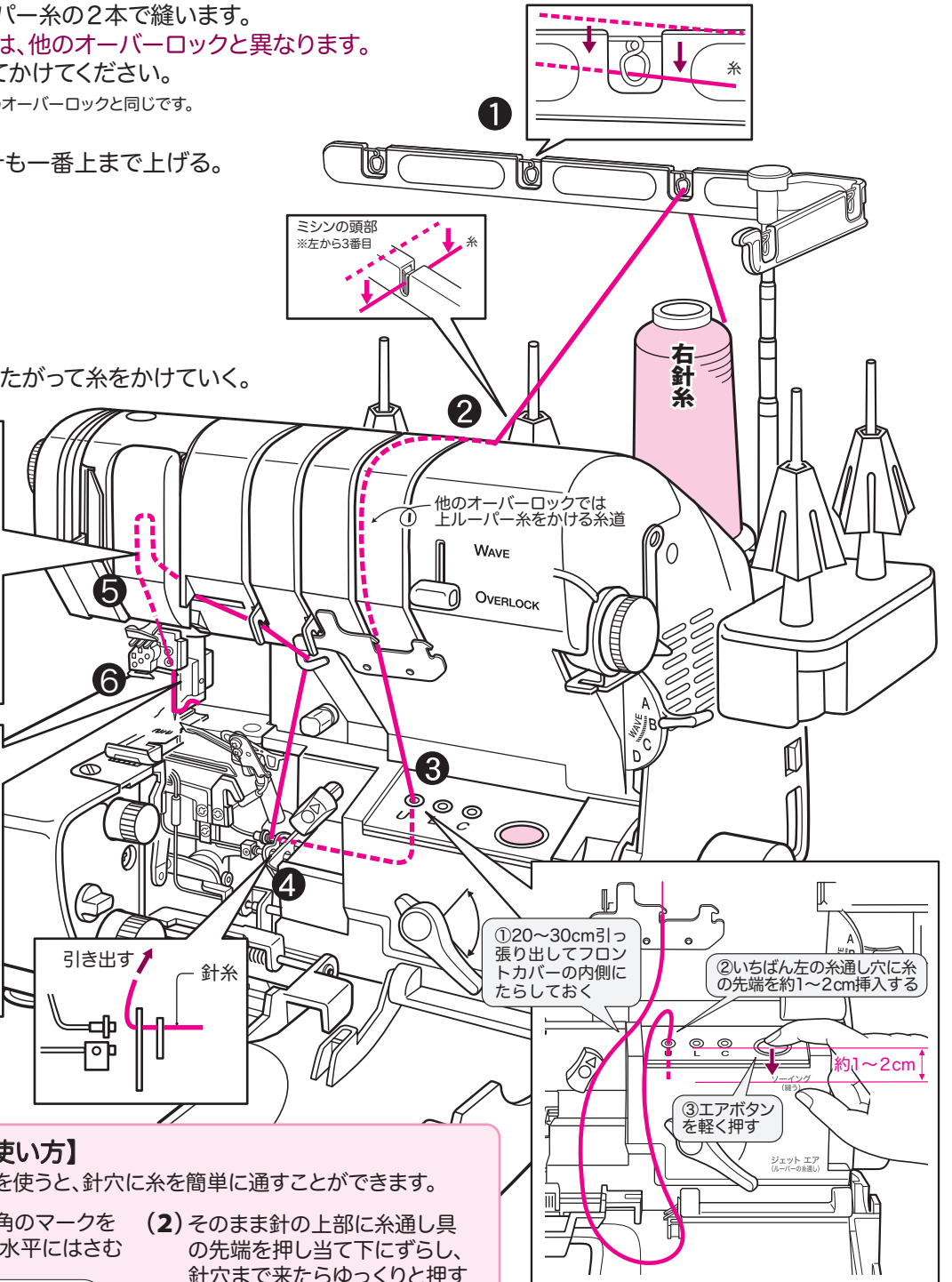
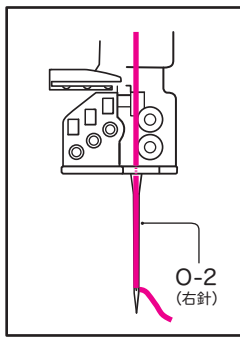
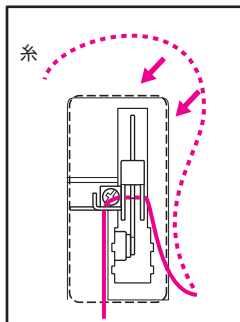
1本針2本糸ロックの糸かけ

右針糸と下ルーパー糸の2本で縫います。
右針糸の糸かけは、他のオーバーロックと異なります。
下記にしたがってかけてください。
※下ルーパー糸は、他のオーバーロックと同じです。

1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



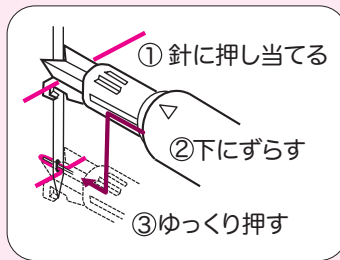
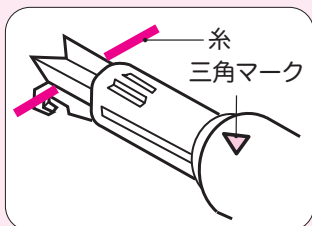
2 右図の番号にしたがって糸をかけていく。



【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

- (1) 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ
- (2) そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す



ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



1本針2本糸ロックの縫い方

0-2 (右針)

押え金 標準押え

かがり幅 (下段の小さい数字) 3.5

メス 使用

送り目 (普通ロック側) 3.0~3.5

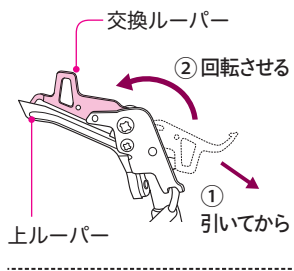
※記されている数字は標準値です。生地や糸、または用途や好みによって微調整を行ってください。

【1本針2本糸ロック】

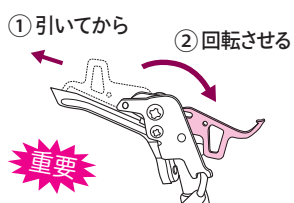
裏 針糸 下ルーバー糸 表

※ 針を一番上にしてから行ってください。

重要

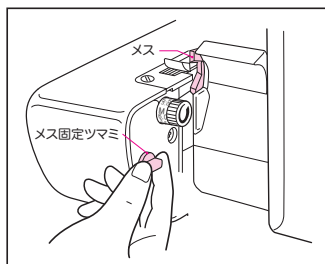


2本糸から4・3本糸・巻きロックに切り換える場合は、必ず交換ルーバーを元の位置に戻してください。

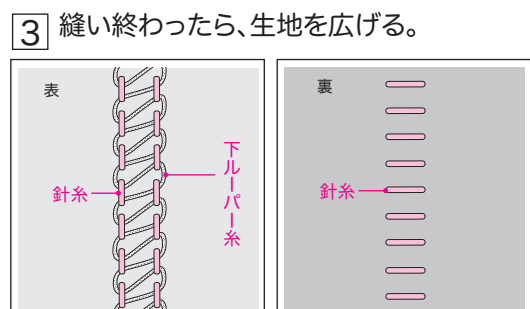
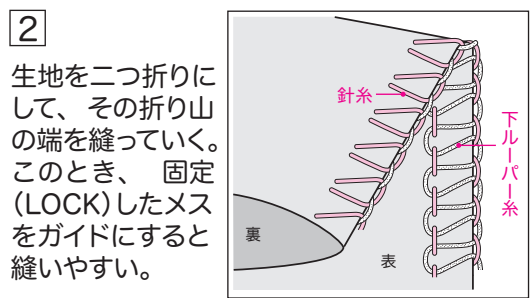


2本糸ロックは、下記のような『飾り縫い』で使われることが多くあります。

■『飾り縫い』の代表的な縫い方



ワンポイントアドバイス
2本糸で飾りステッチなどを縫う場合は、下ルーバー糸に太めの糸や飾り糸を使うと効果的です。





ウェーブロック編

B：ウェーブロック
C：巻きウェーブロック

ウェーブロックで縫う場合は下記の順番に従って切り替えてください。

1 針

○側の針を付ける
・右針使用の1本針

注 1本針で縫う場合は、針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

2 カバーステッチ切換レバー

トリプルカバーステッチ オーバーロック
カバーステッチ ウェーブロック
チェーンステッチ インターロック

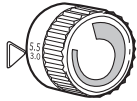


3 糸をかける

(P24～29参照)

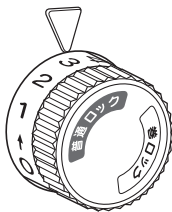
※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

7 かがり幅ダイヤル



下段の小さい数字で合わせる

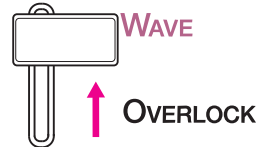
6 送り目ダイヤル



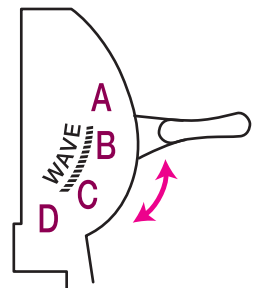
・ウェーブロックの場合は【普通ロック】側の数字で合わせる
・巻きウェーブロックの場合は【巻ロック】側の数字で合わせる

4

オーバーロック/
ウェーブロック切換ツマミ
WAVEに合わせる



5 縫い目切換ダイヤル

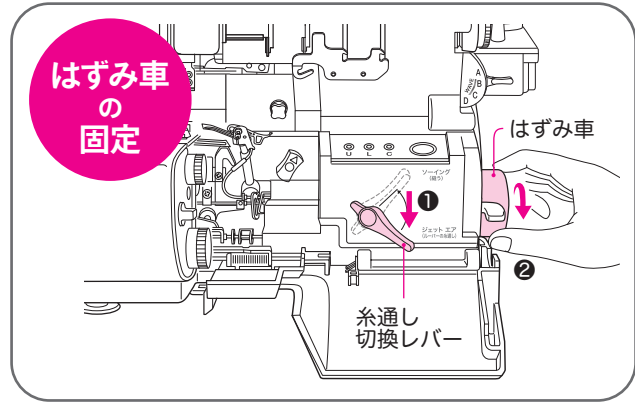


WAVE B：ウェーブロック
C：巻きウェーブロック

9

「ウェーブロック」の糸かけ

下ルーパー糸と上ルーパー糸をかける場合は、ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）を使用します。このジェットエアスルーを使用する前には必ず「はずみ車の固定」を行ってください（右ページ参照）。



糸かけ 全体図

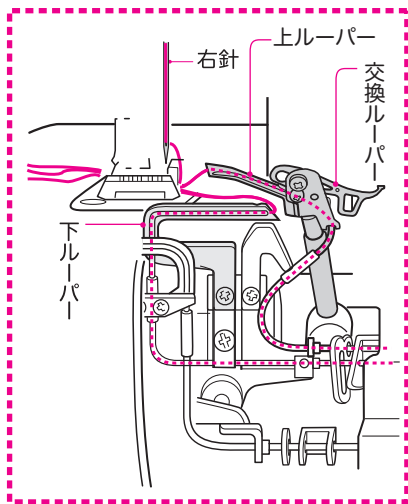
どの糸からかけてもかまいません。糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

右針糸

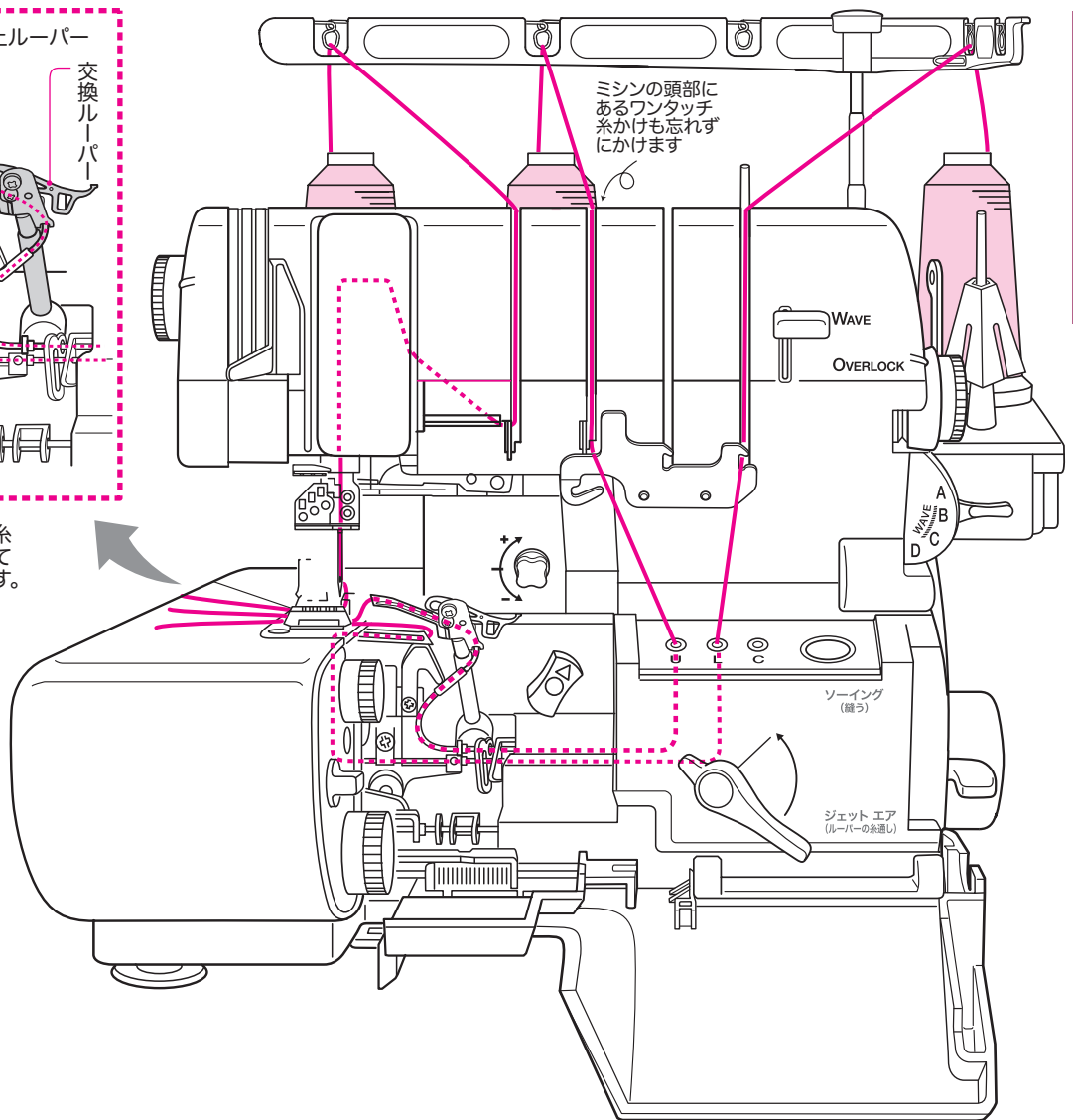
上ルーパー糸

この二本は
ジェットエアスルー
を使って通します

下ルーパー糸



※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



ウェーブロック編

注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

「ウェーブロック」の糸かけ

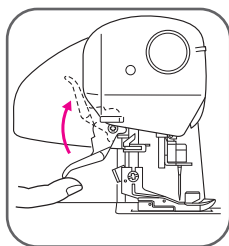
ジェットエアスルーの使い方

ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）の使い方

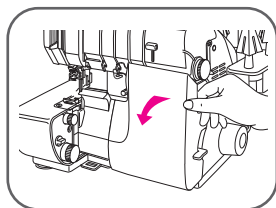
下ルーパーと上ルーパーの糸かけをするときは「ジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）」を使います。ジェットエアスルーを使うときは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

ジェットエアスルーの「準備」

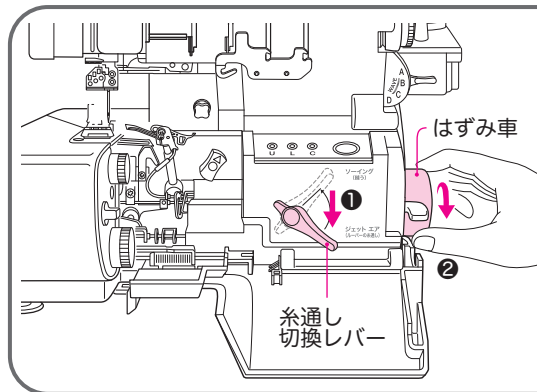
- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。



- 2 フロントカバーとメスカバーを開ける。



- 3 糸通し切換レバーを「ジェットエア」側へ下げ、カチッと音がするまではずみ車を回す。



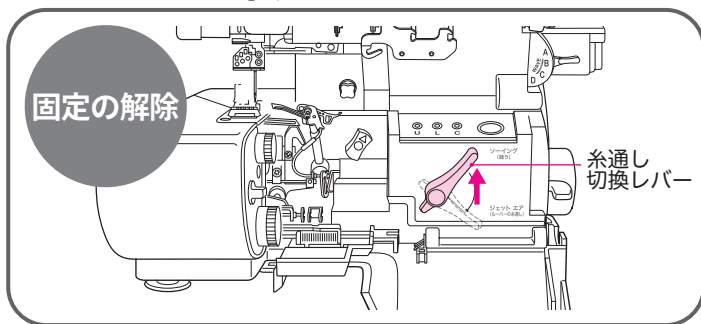
セットが完了するとはずみ車は回らなくなります。

はずみ車の固定

P26(下ルーパー糸)・P27(上ルーパー糸)にしたがって糸をかける

ジェットエアスルーの「解除」

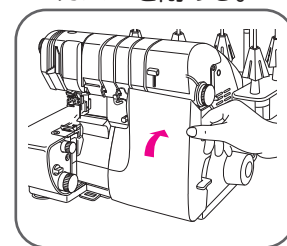
- 1 ルーパー糸をかけ終わったら、必ず糸通し切換レバーを「ソーイング」側へ上げる。



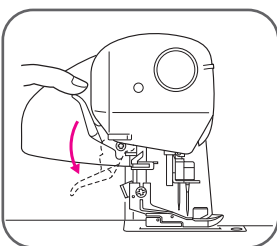
固定の解除

糸通し
切換レバー

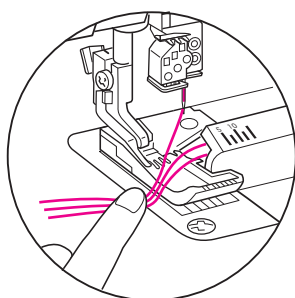
- 2 メスカバー、フロントカバーを閉める。



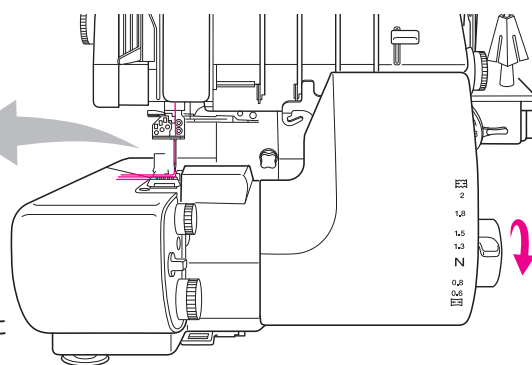
- 3 押え上げレバーで押え金を下げる。



ウェーブロックで縫う場合は、針糸を含めすべての糸をかけ終わったら、最後に糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくなるか確認する。



通した糸は押え金の上または下から左側にそれぞれ10cm位のところで切りそろえる



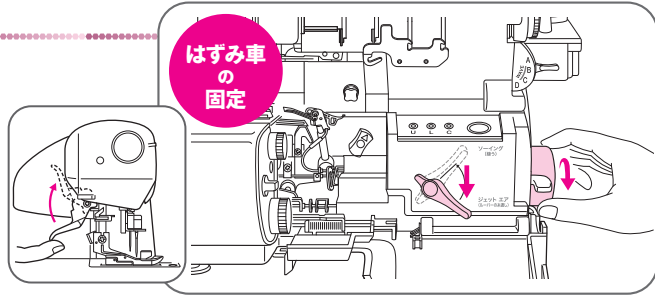
「ウェーブロック」の糸かけ

下ルーバー糸

(はずみ車の固定)

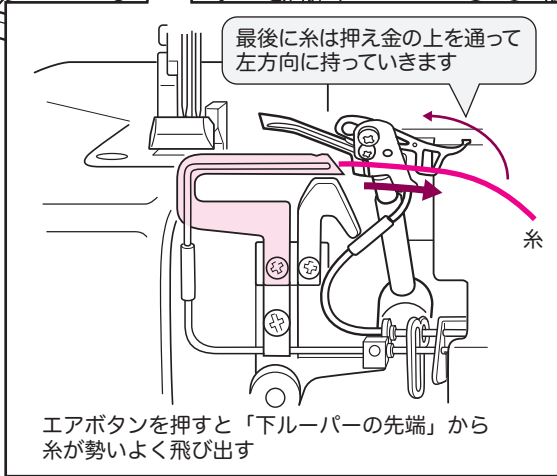
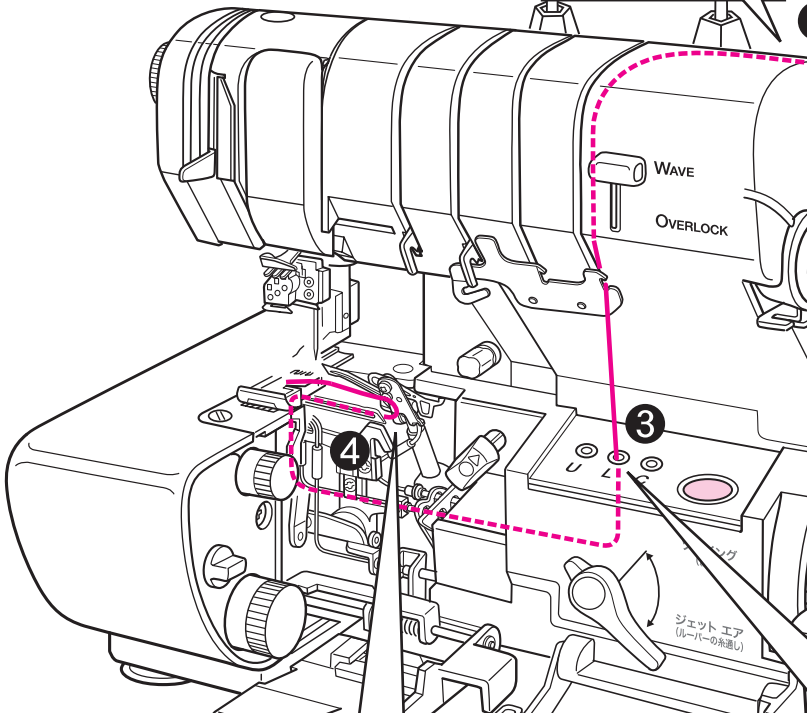
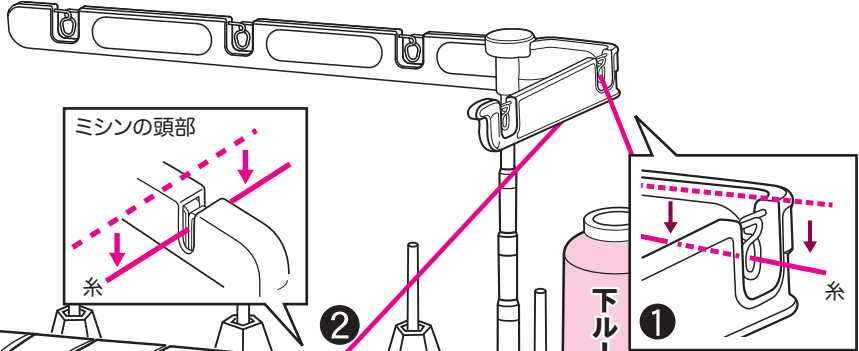
1 糸かけの前に必ず「ジェットエアスルーの準備」(前ページ参照)を行う。

重要



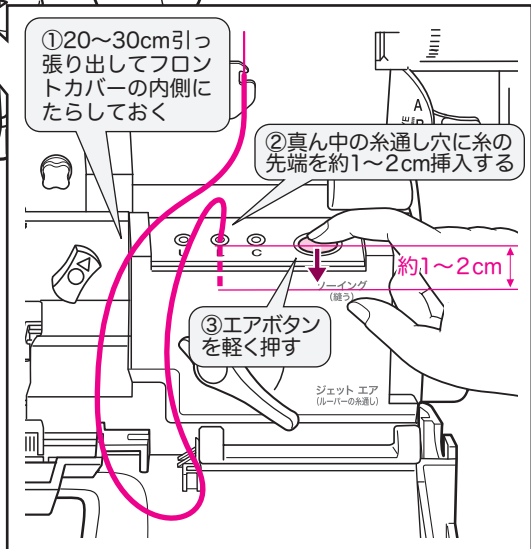
2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

下ルーバー糸



ワンポイント

糸を交換する場合はルーバーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。



ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーバーズレッダー」を利用すると便利!



【付属】ルーバーズレッダー (糸通し具兼掃除具)
※使い方は45ページ参照

注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

3 「固定の解除」(前ページ参照)をしてから縫い始める。

重要

「ウェーブロック」の糸かけ

上ルーパー糸

1 カバーステッチ切換レバーを**右側**にする。

トリプルカバーステッチ
カバーステッチ
チェーンステッチ
オーバーロック
ウェーブロック
インターロック

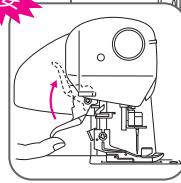


2の「ジェットエアスルーの準備」を行う前に必ず**1**を行うこと

2 糸かけの前に必ず
(はずみ車の固定)
「ジェットエアスルーの準備」
(25ページ参照)を行う。

重要

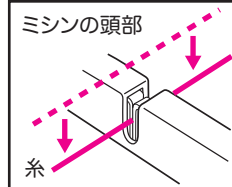
はずみ車の固定



3 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

上ルーパー糸

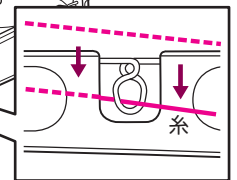
※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



ミシンの頭部

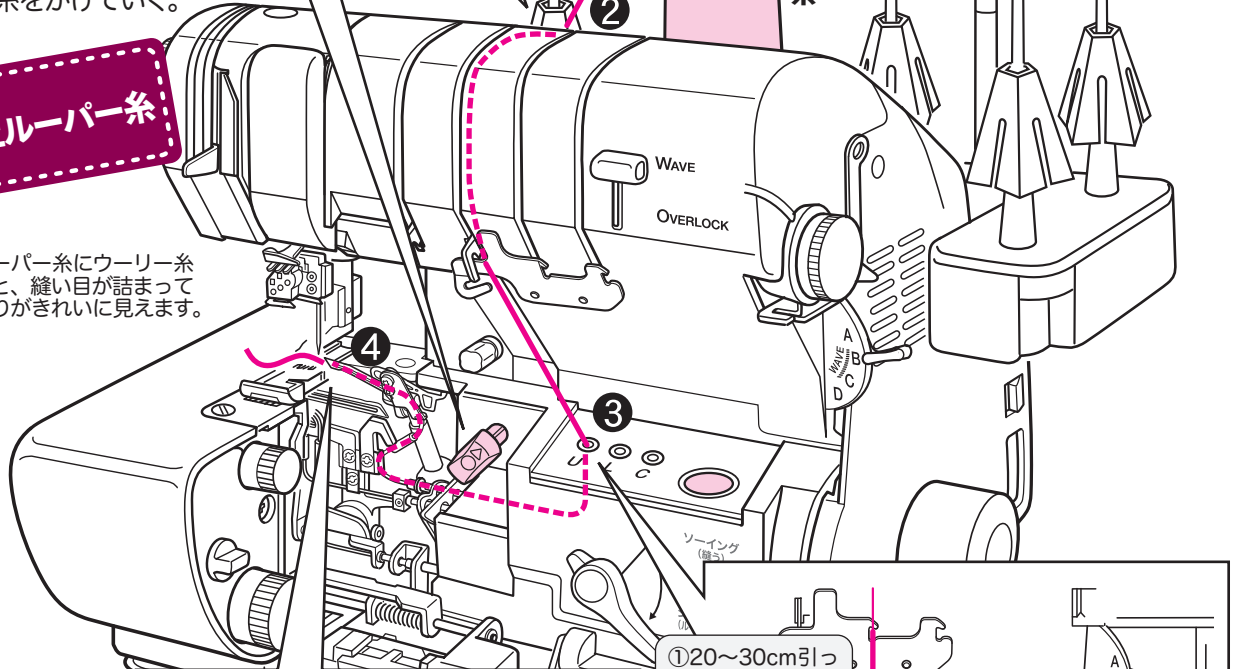
糸

上ルーパー糸



1

糸



①20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

②いちばん左の糸通し穴に糸の先端を約1~2cm挿入する

約1~2cm

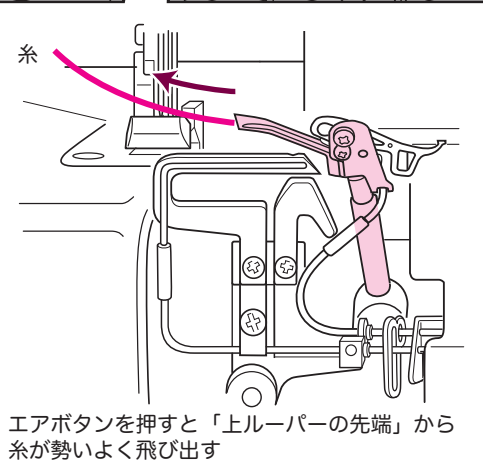
③エアボタンを軽く押す

ジェットエア (ルーパーの糸通し)

注意

ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



エアボタンを押すと「上ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出す

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパーズレッダー」を利用すると便利!



【付属】ルーパーズレッダー (糸通し具兼掃除具)

※使い方は45ページ参照

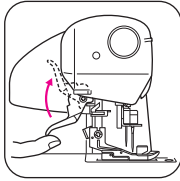
4 「固定の解除」(25ページ参照)をしてから縫い始める。

重要

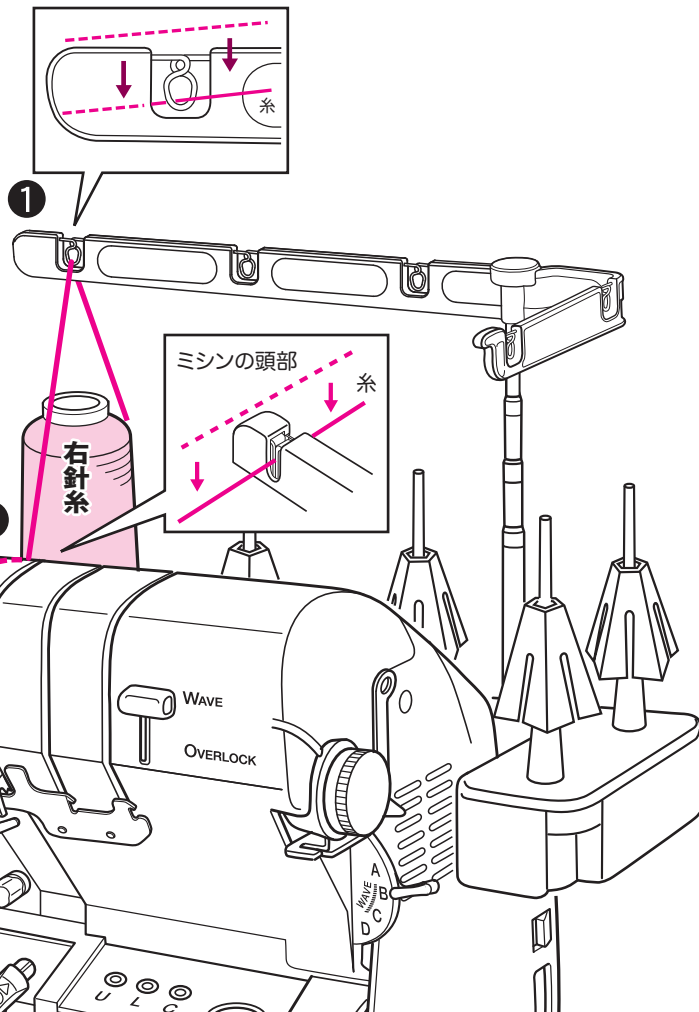
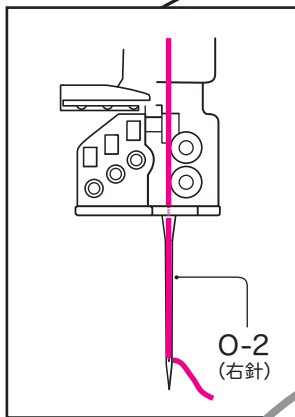
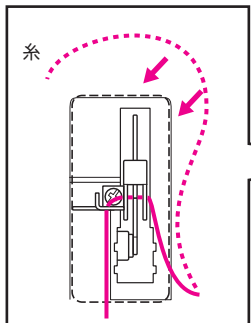
「ウェーブロック」の糸かけ

右針糸

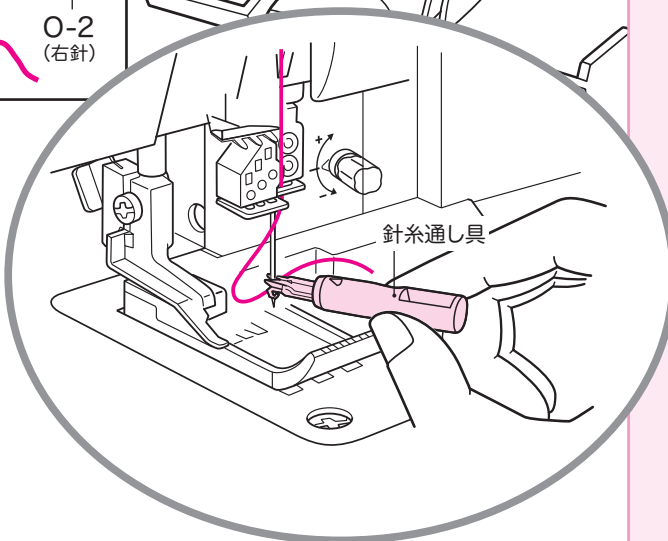
1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



注意
ケガをする恐れがあります。
糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



【針糸通し具の使い方】
付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

(1) 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ

(2) そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にならず、針穴まで来たらゆっくりと押す

ウェーブロック編

「ウェーブロック」の糸かけ

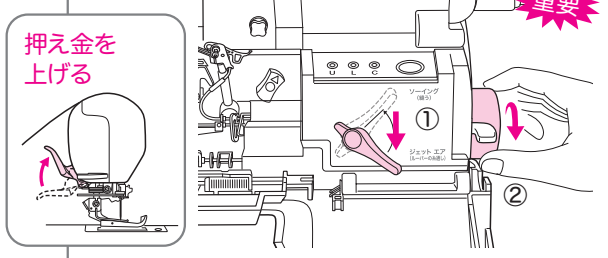
太い糸のかけ方

太い糸のかけ方 (極細毛糸や刺しゅう糸など)

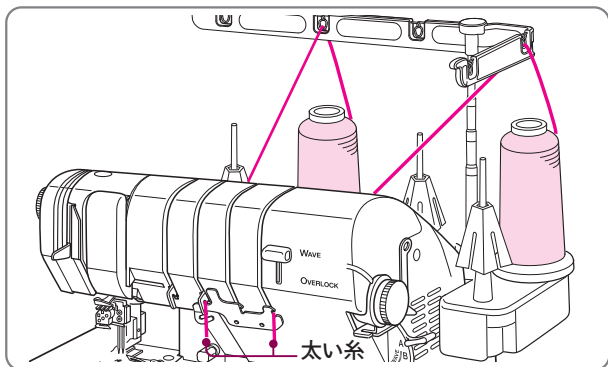
【エアルーパイプを通さない糸のかけ方】

上・下ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアルーシステム (自動エア糸通し) のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

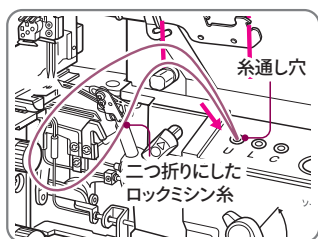
- 1** 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P25 参照)



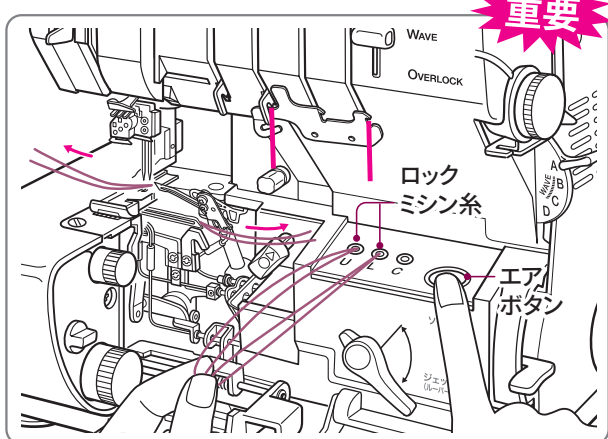
- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P15、16参照)



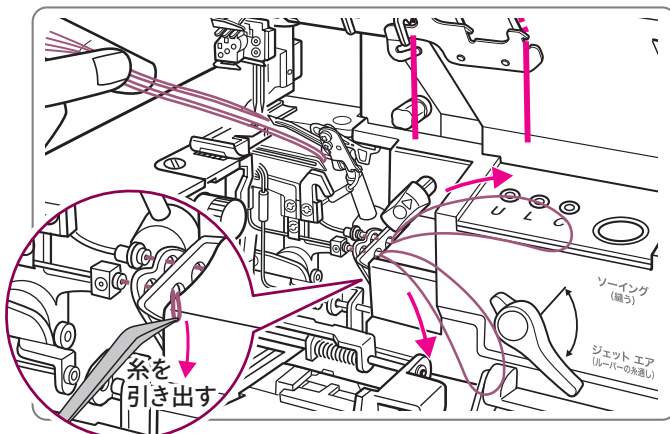
- 3** 90cmぐらいのロックミシン糸を二つ折りにし、図のようにセットする (上ルーパーも同様にする)。



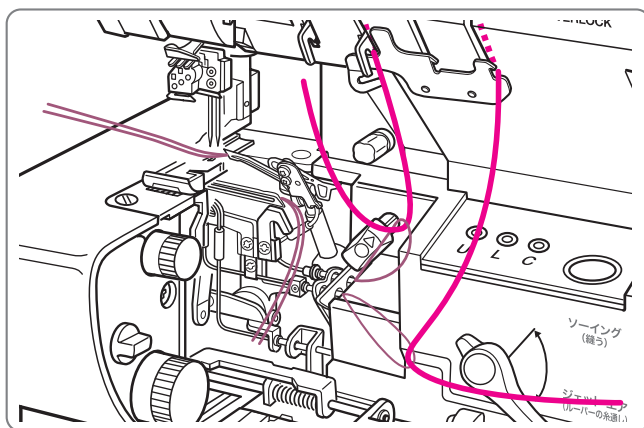
- 4** 糸がすべて通り抜けてしまわないように二つ折りにした部分を指で持ったままエアボタンを押す。「固定の解除」を行う(P14参照)



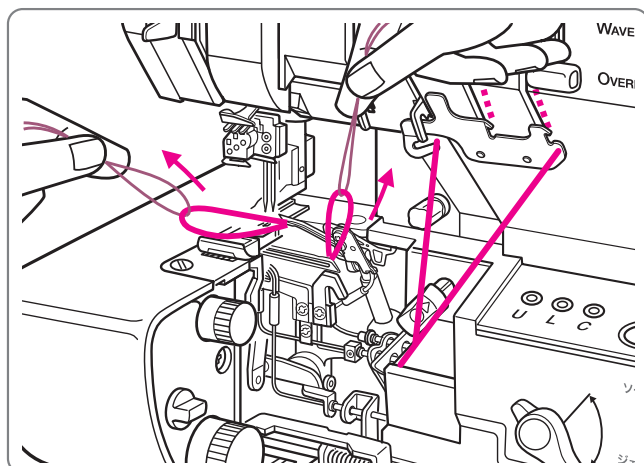
- 5** エアルーで通したロックミシン糸をパイプの途中からピンセットで引き出す(この時ルーパーの先から出ているロックミシン糸は抜けないように手で持っておく)。



- 6** 太い糸をロックミシン糸の輪っかに10cmほど通して引っかける。



- 7** 太い糸がパイプの中に入っているかを確認しながら、ルーパーから出ているロックミシン糸をゆっくりと引き出す。

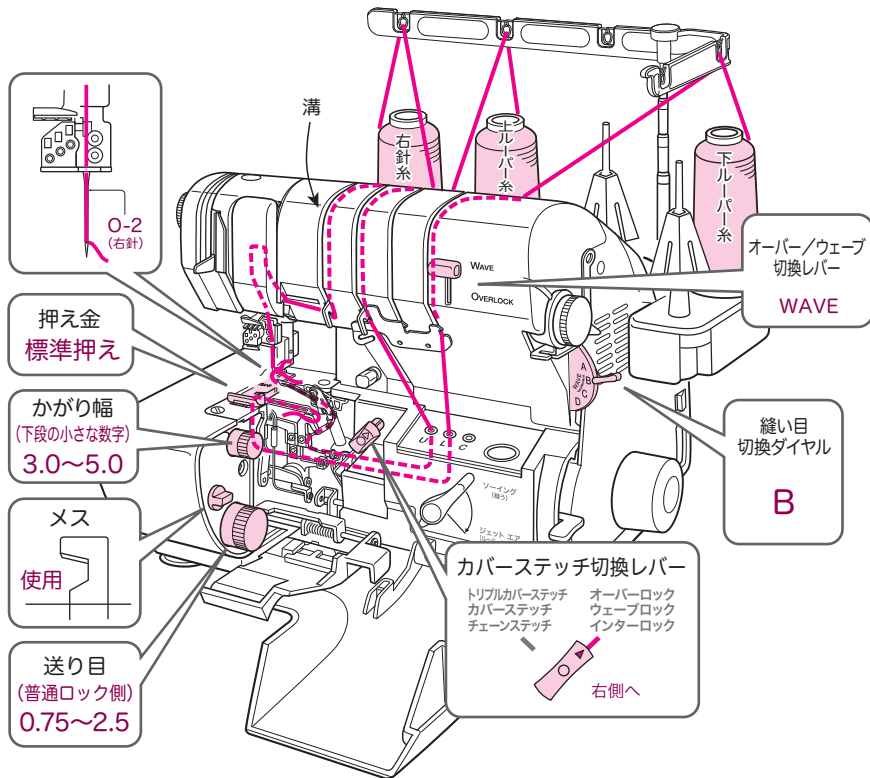


10

「ウェーブロック」の縫い方

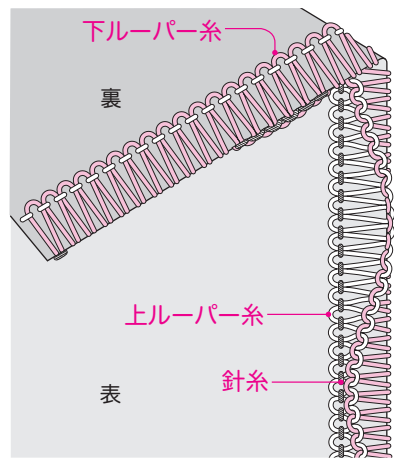
「ウェーブロック」と「巻きウェーブロック」の2種類の縫いができます。

10-1「ウェーブロック」の縫い方



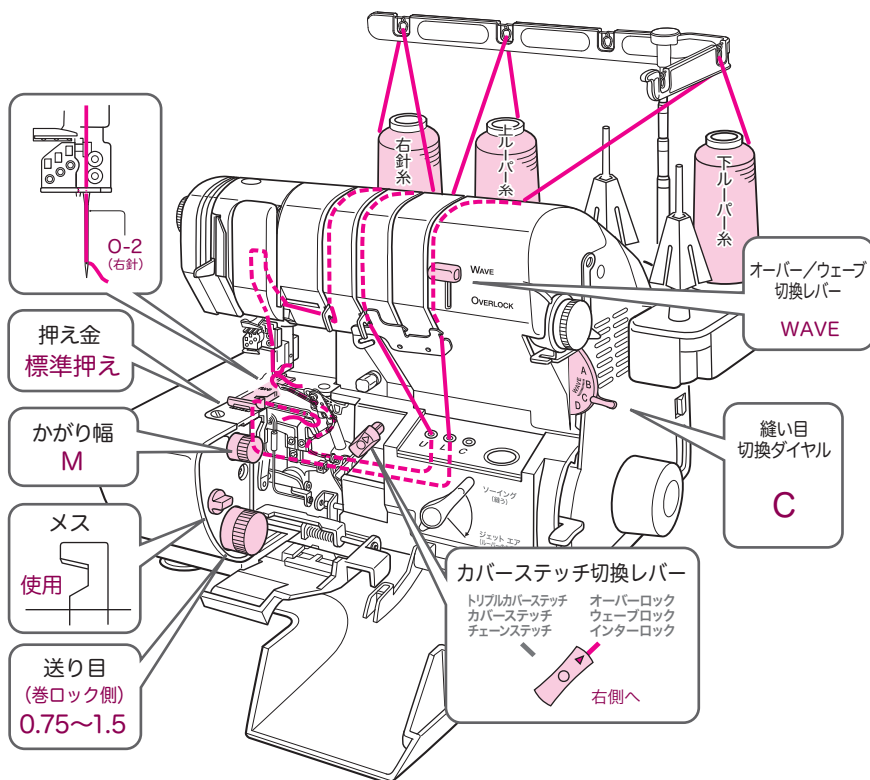
【ウェーブロック】

一般的には、上ルーパー糸にラメ糸や飾り糸、下ルーパー糸にウーリー糸、針糸にスパン糸を使います。色の組み合わせによりさまざまなバリエーションが楽しめます。



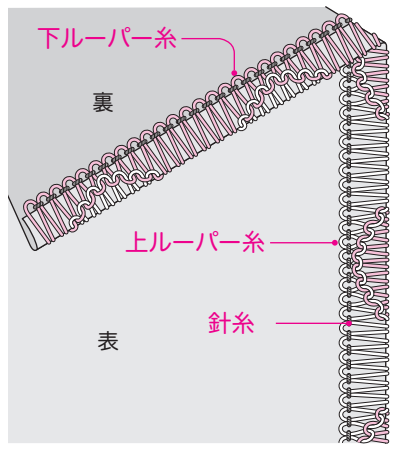
ウェーブロック編

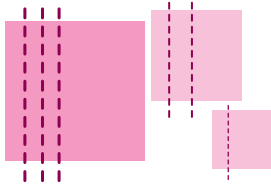
10-2「巻きウェーブロック」の縫い方



【巻きウェーブロック】

オーガンジーやジョーゼットのような薄地の飾り縫いとして効果的です。





カバーステッチ編

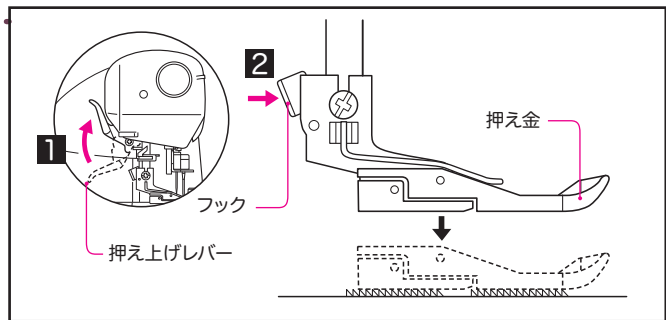
- チェーンステッチ
- カバーステッチ
- トリプルカバーステッチ

オーバーロックやウェーブロックからチェーン/カバー/トリプルカバーステッチに切り換える場合は押え金をチェーン/カバー用押えに、メスカバーをチェーン/カバー用テーブルに交換します。その他、別売りの各種アタッチメントに交換する場合も下記のように行ってください。

押え金の取り付け・取りはずし方

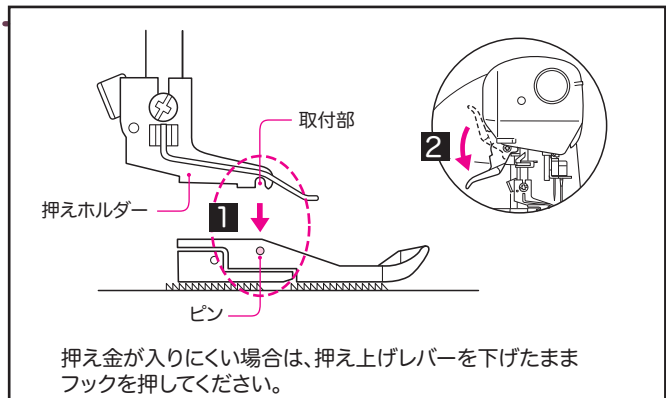
【取りはずし方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。



【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。



11

チェーン/カバー/トリプルカバーステッチへの切換え

オーバーロックやウェーブロックからチェーン/カバー/トリプルカバーステッチに切り換える場合は、下記の順番に従って切り換えてください。
 ※オーバーロック・ウェーブロックを縫う場合はすべて元に戻してください。

1 C側の針を付ける

- チェーンステッチは1本
- カバーステッチは2本
- トリプルカバーステッチは3本

注 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

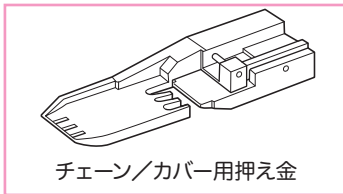


この裏側の穴も忘れずにかけます

この糸はエアスルーを使って通します

2 チェーン/カバー用押え金を付ける

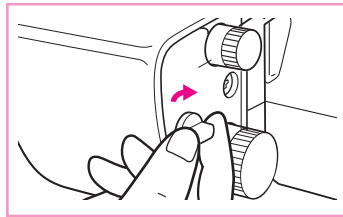
付いている「標準押え」を付属の「チェーン/カバー用押え金」に付け換えます。



チェーン/カバー用押え金

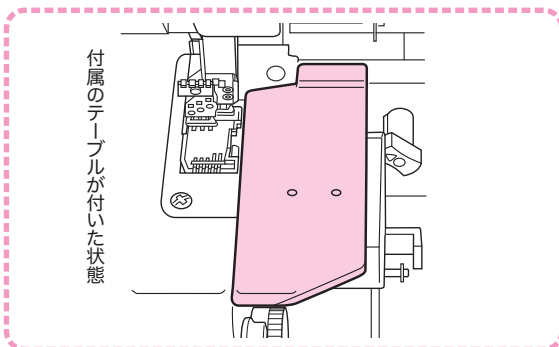
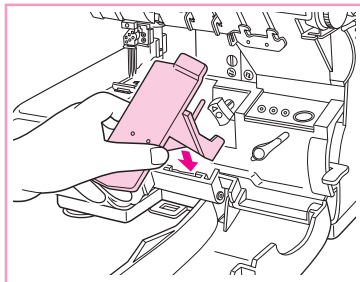
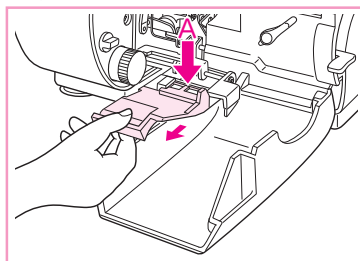
※押え金の交換方法はP31を参照ください。

3 メスをLOCK (固定) する



4 チェーン/カバー用テーブルに付け換える

- 1) メスカバーのAの部分を押え、
- 2) 付属のテーブルを差し込みます。静かに引き抜きます。



付属のテーブルが付いた状態

5 はずみ車を手で回して針を最下点にする

6 カバーステッチ切換レバーを左側へ倒す

- | | |
|-------------|---------|
| トリプルカバーステッチ | オーバーロック |
| カバーステッチ | ウェーブロック |
| チェーンステッチ | インターロック |

左側へ

7 はずみ車を手で回して上ルーパーが固定されたことを確認する。

12

チェーン/カバー/トリプルカバーステッチの糸かけ

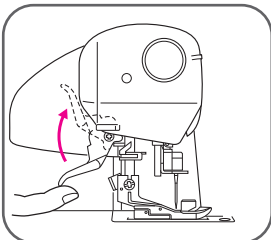
チェーン/カバー/トリプルカバーステッチは、「チェーンルーパー糸」と「チェーン針糸」で縫います。

ジェットエアスルー(ジェットエア糸通し)の使い方

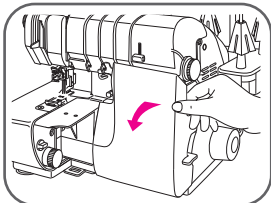
チェーンルーパーの糸かけをするときは「ジェットエアスルー(ジェットエア糸通し)」を使います。ジェットエアスルーは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

ジェットエアスルーの「準備」

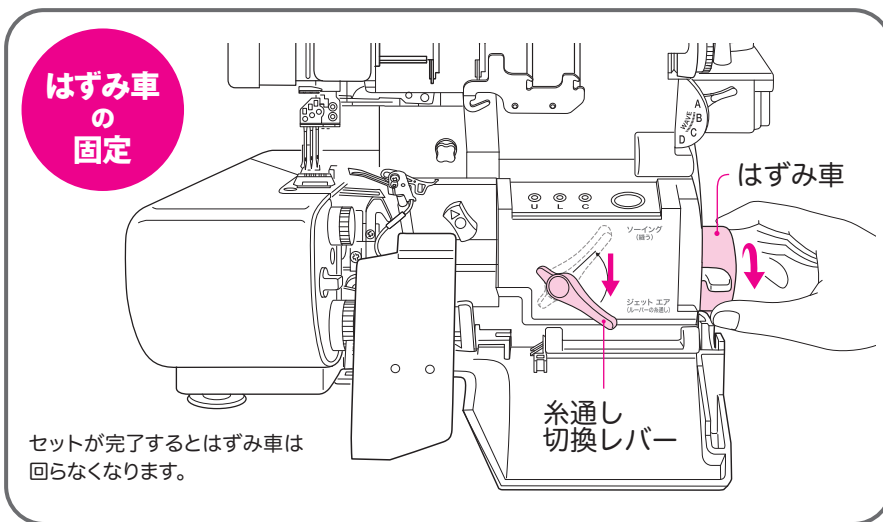
- 1** 押え上げレバーで押え金を上げる。



- 2** フロントカバーとメスカバーを開ける。



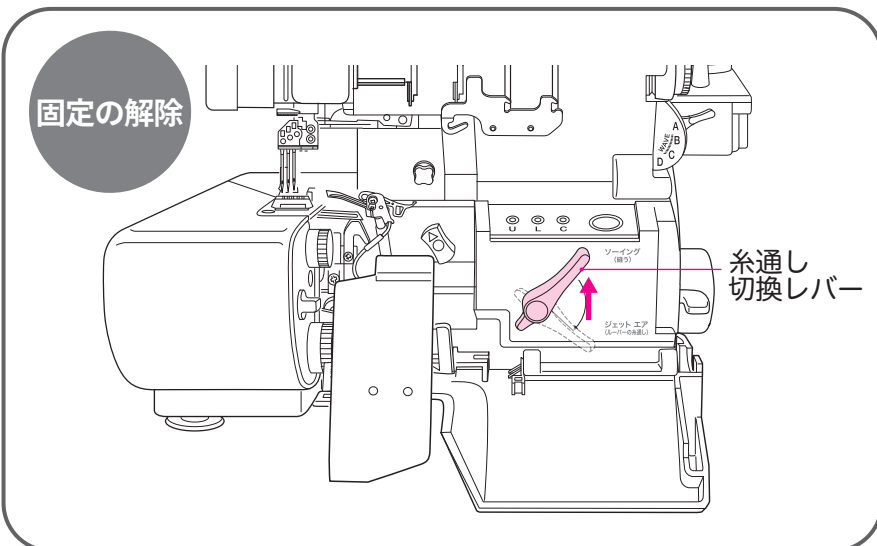
- 3** 糸通し切換レバーを「ジェットエア」側へ下げ、カチッと音がするまではずみ車を回す。



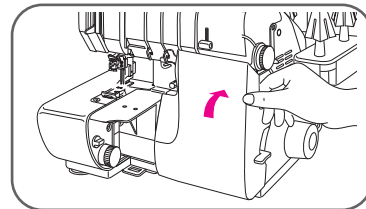
次ページにしたがって『チェーンルーパー糸』をかける

ジェットエアスルーの「解除」

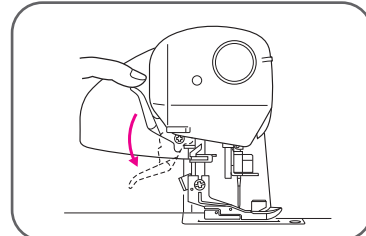
- 1** ルーパー糸をかけ終わったら、必ず糸通し切換レバーを「ソーイング」側へ上げる。



- 2** メスカバー、フロントカバーを閉める。

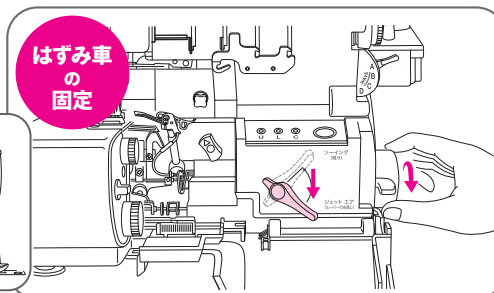


- 3** 押え上げレバーで押え金を下げる。



チェーン／カバー／トリプルカバーステッチの糸かけ

チェーンルーパー糸

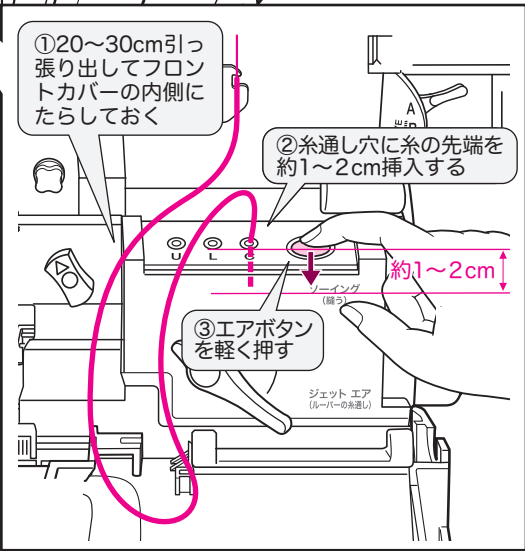
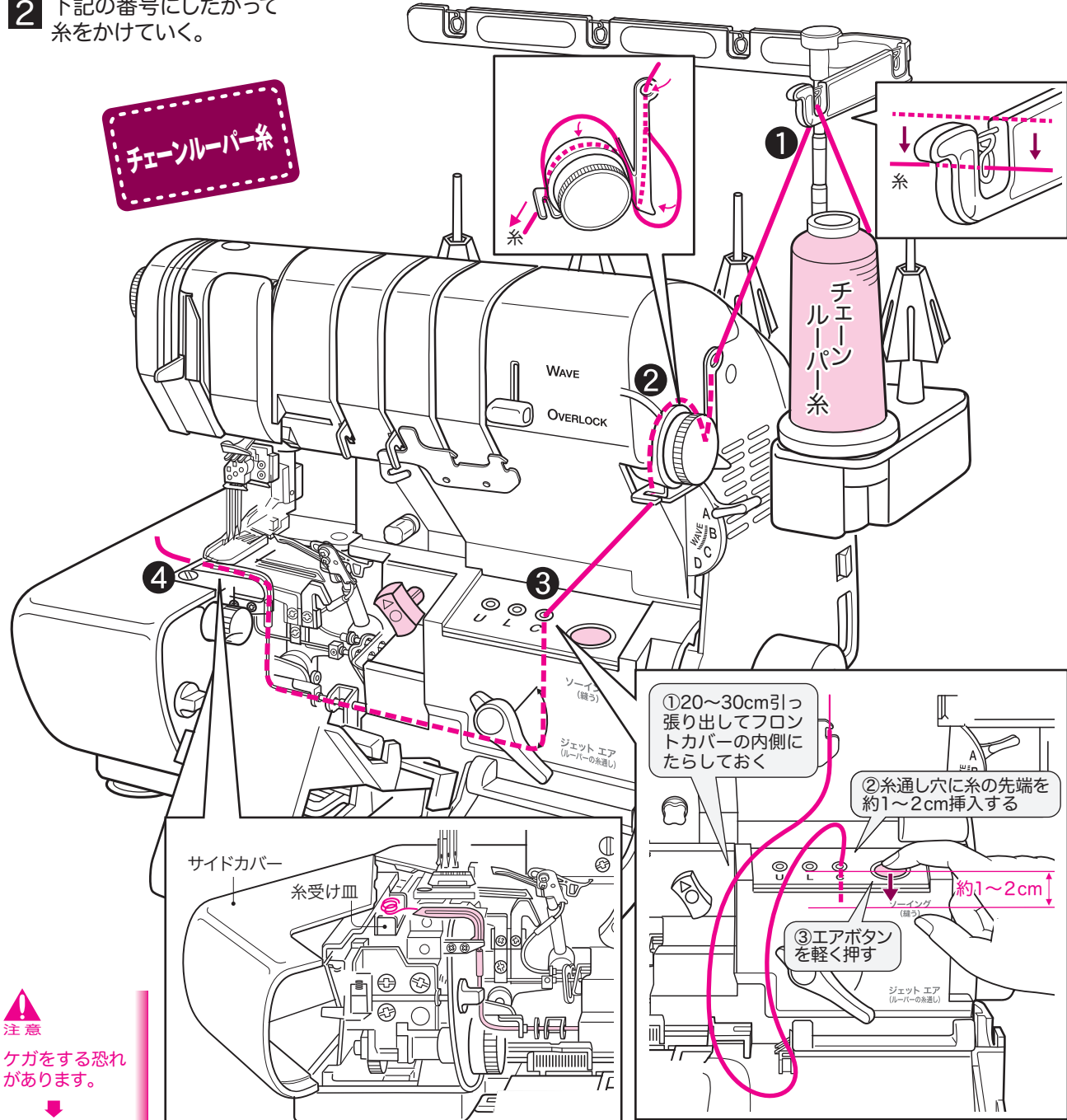


1 糸かけの前に必ず「ジェットエアスルーの準備」(前ページ参照)を行う。

重要

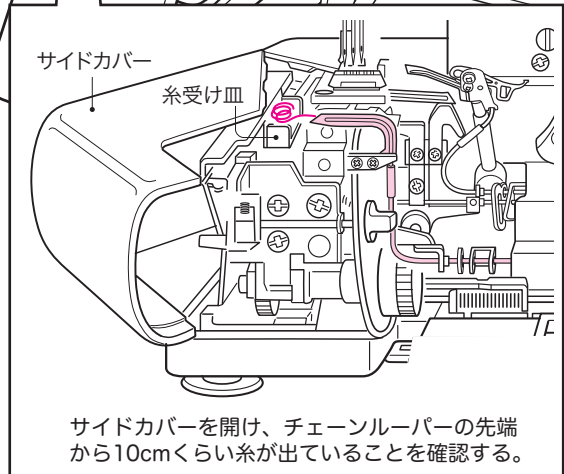
2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。

チェーンルーパー糸



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合、エアボタンを押すとき以外は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



サイドカバーを開け、チェーンルーパーの先端から10cmくらい糸が出ていることを確認する。

ワンポイント 糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



【付属】
ルーパースレッダー
(糸通し具兼掃除具)
※使い方は45ページ参照

3 「固定の解除」(前ページ参照)をしてから縫い始める。

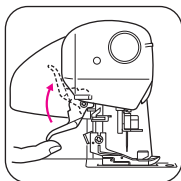
重要

カバーステッチ編

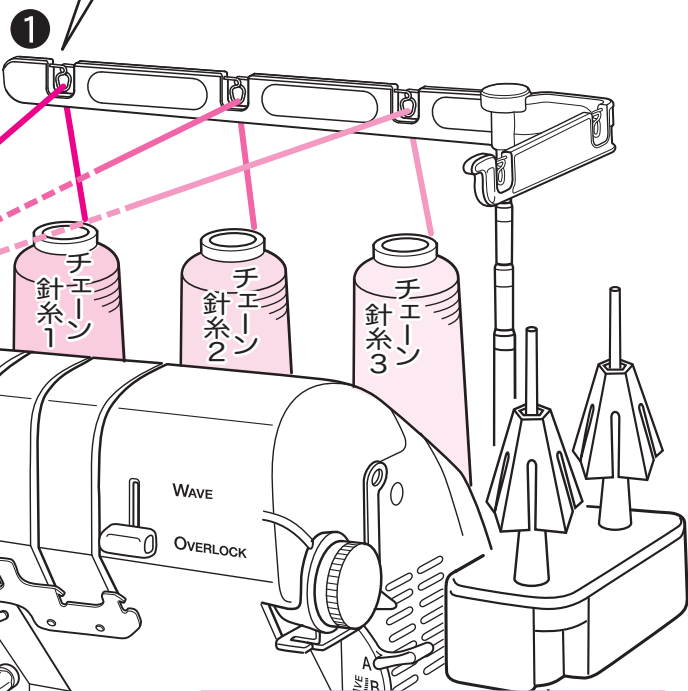
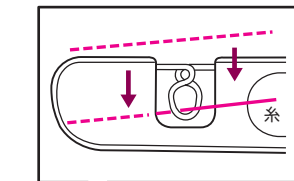
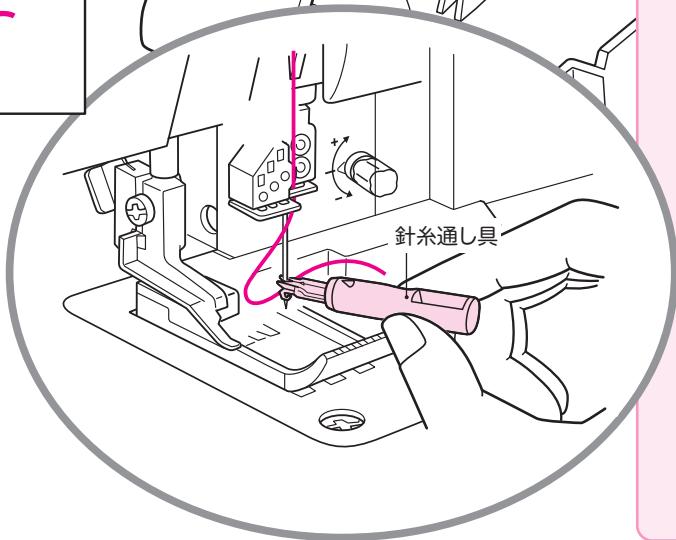
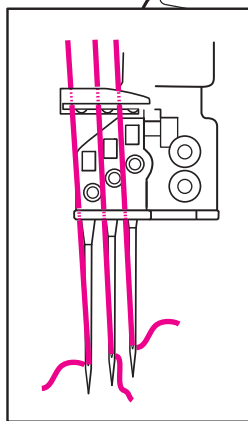
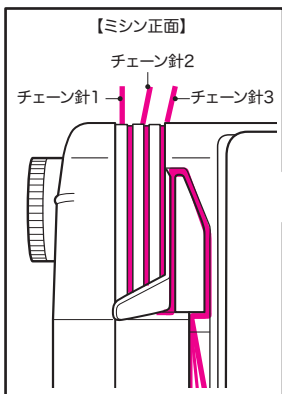
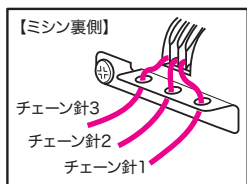
チェーン／カバー／トリプルカバーステッチの糸かけ

チェーン針糸

1 押え金を上げ、針も一番上まで上げる。



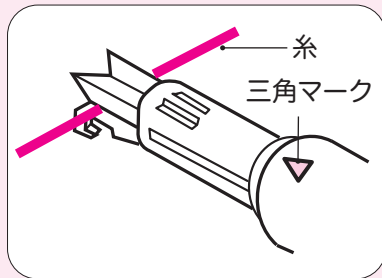
2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



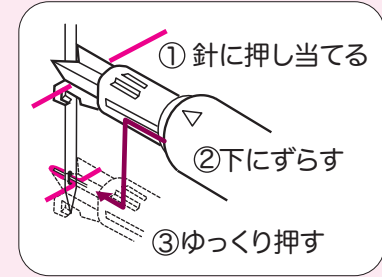
【針糸通し具の使い方】

付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

(1) 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



(2) そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にならずし、針穴まで来たらゆっくりと押す



注意
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

13

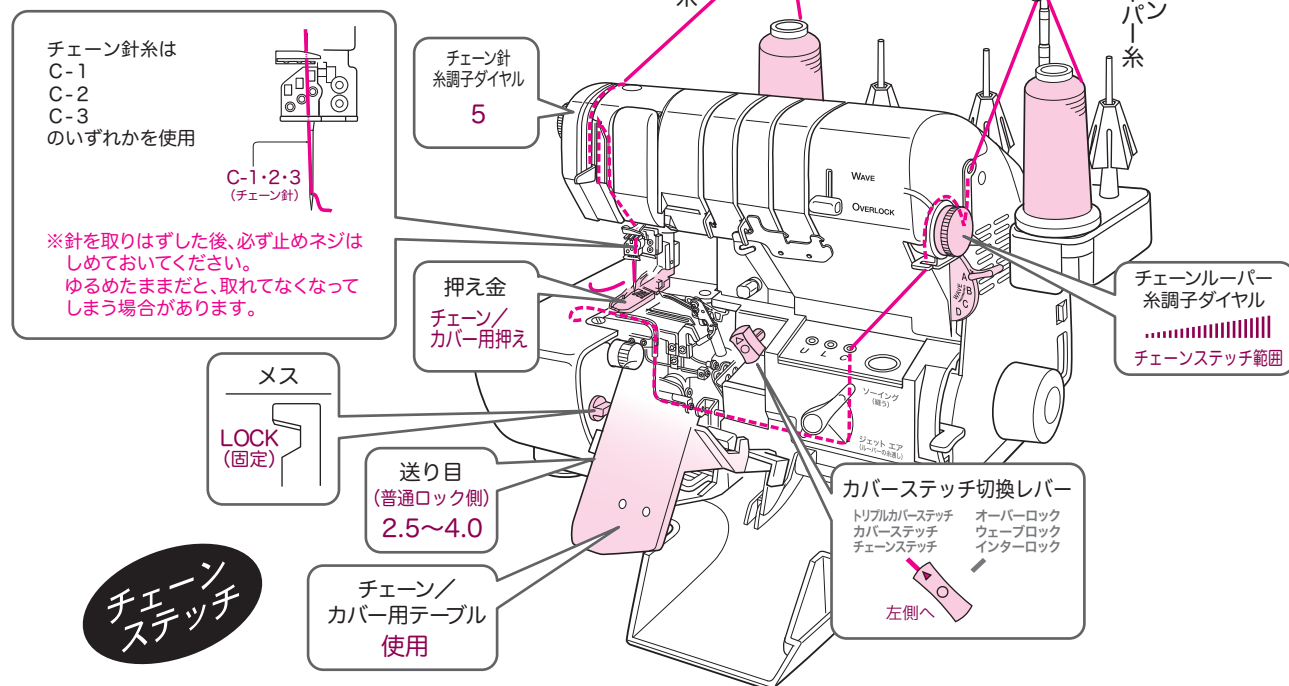
チェーン／カバー／トリプルカバーステッチの縫い方

チェーンルーパー糸とチェーン針糸1本を使うと「チェーンステッチ」、チェーン針糸2本を使うと「カバーステッチ」、チェーン針糸3本を使うと「トリプルカバーステッチ」です。

13-1「チェーンステッチ」の縫い方

チェーンステッチは二重環縫いとも言われている縫い方で、表が直線縫いになり、裏が輪状になっています。そのため普通ミシンの直線縫いとは異なり、丈夫なうえに伸縮性もあります。ニット地などの縫い合わせ、ゴム付け、バイアステープ作りに適した縫い目です。

チェーンルーパー糸とチェーン針糸の2本の糸を使って縫います。(糸のかけ方はP32~35参照)

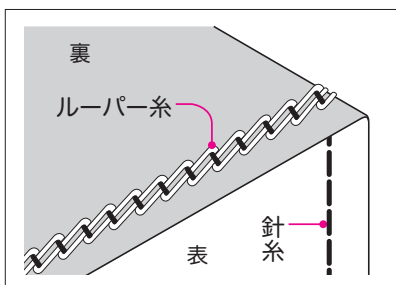


布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

注意 チェーンステッチを縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

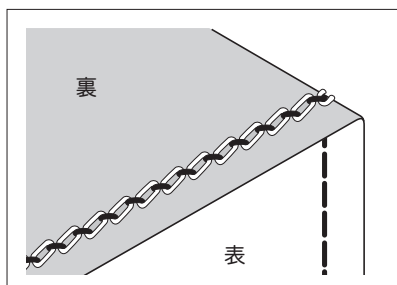
カバーステッチ編

「チェーンステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



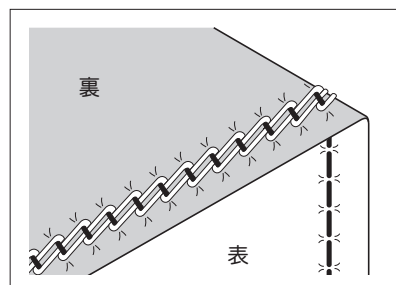
きれいな縫い目

表の縫い目が直線で、裏の縫い目が輪状(ループ)になっている。



針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

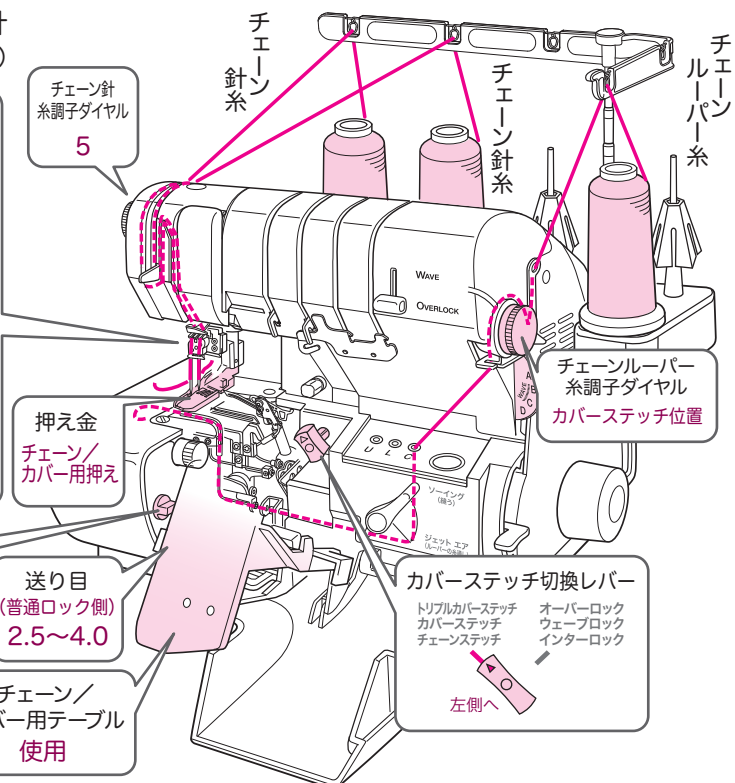
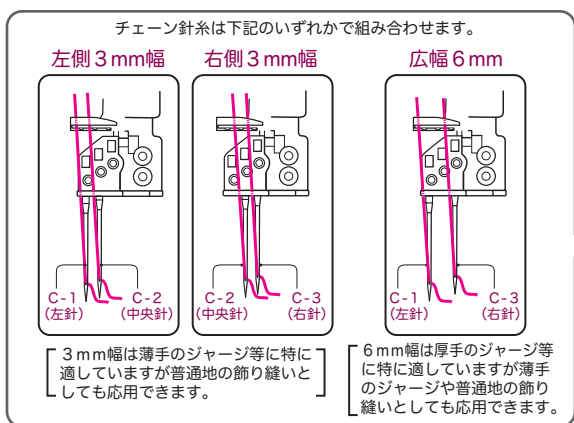
「チェーン／カバー／トリプルカバーステッチ」の糸かけ

「カバーステッチ」の縫い方

13-2「カバーステッチ」の縫い方

カバーステッチはチェーンステッチ2本で構成され、表は2本の直線、裏は2つのループが絡んだ縫い目になります。既製品のTシャツなどの袖口や裾にこの縫い目がよく使われています。カバーステッチは2本のチェーン針を使用しますが、使う針の組み合わせにより、右側3mm幅と左側3mm幅、広幅6mmの3種類の縫い方ができます。

チェーンルーパー糸1本とチェーン針糸2本の合計3本の糸を使って縫います。(糸のかけ方はP32~35参照)

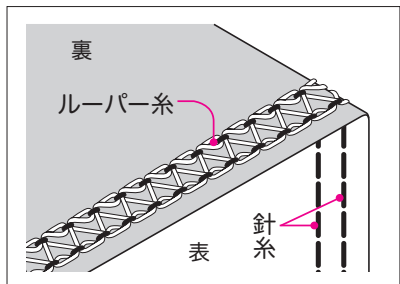


カバーステッチ

布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

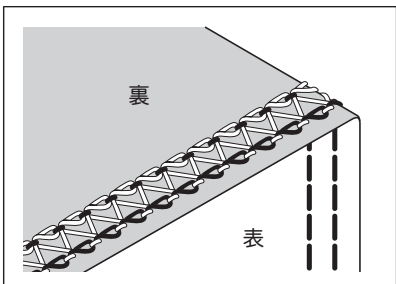
注意 カバーステッチを縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

「カバーステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



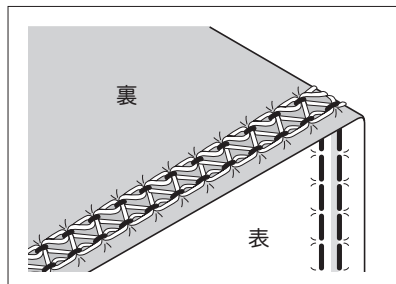
きれいな縫い目

表の縫い目が2本の直線で、裏の縫い目は輪状(ループ)が絡み合いジグザグになっている。



針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

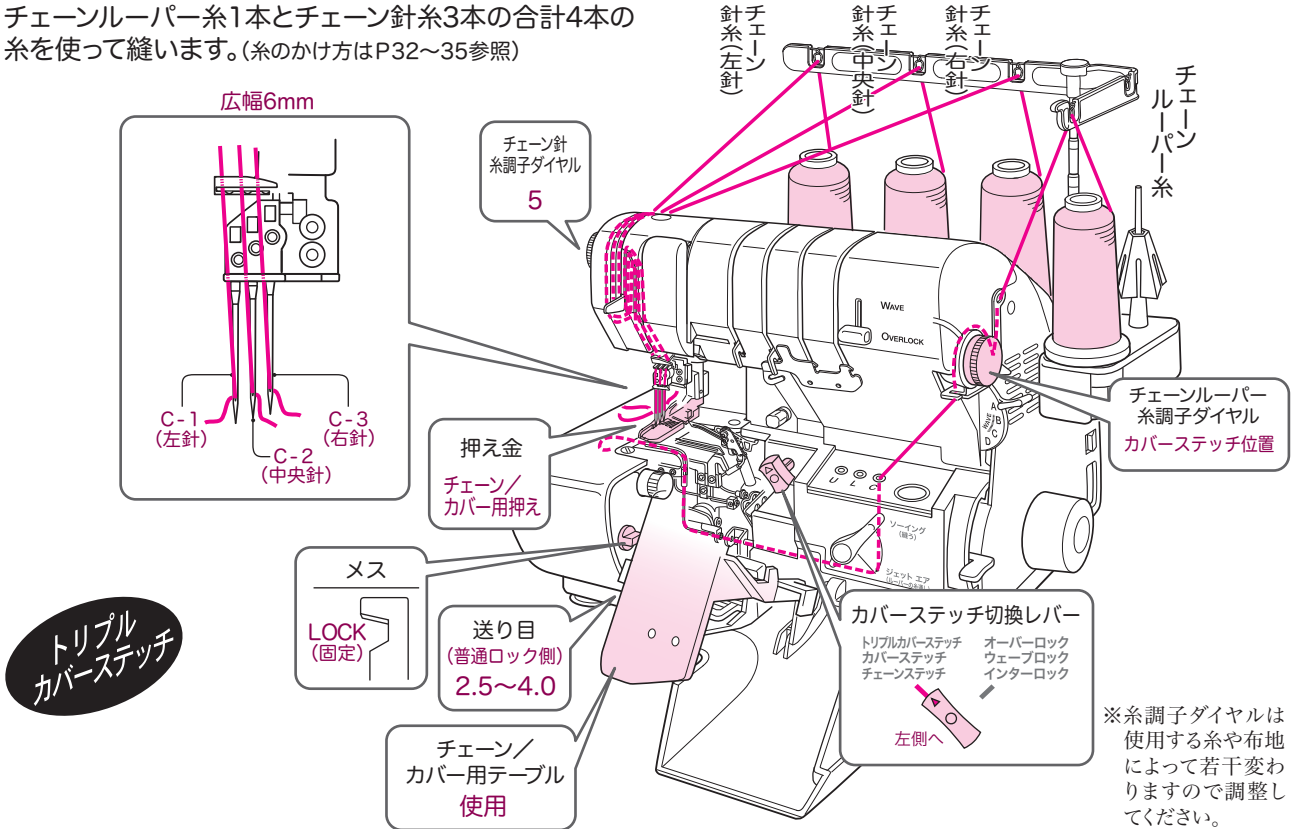
「チェーン／カバー／トリプルカバーステッチ」の縫い方

「トリプルカバーステッチ」の縫い方

13-3「トリプルカバーステッチ」の縫い方

トリプルカバーステッチは表が3本の直線縫いになり、飾り縫い、裾始末、ゴム入れ等に適しています。

チェーンルーパー糸1本とチェーン針糸3本の合計4本の糸を使って縫います。(糸のかけ方はP32~35参照)



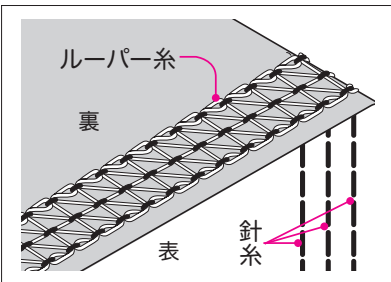
トリプルカバーステッチ

布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

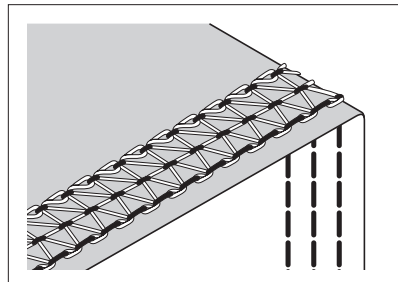
注意 トリプルカバーステッチを縫う場合は布を針落ち位置まで入れて縫い始めてください。

カバーステッチ編

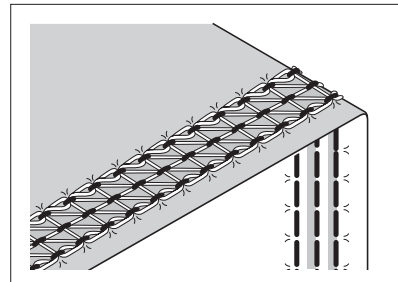
「トリプルカバーステッチ」の縫い目と糸調子の合わせ方



きれいな縫い目
表の縫い目が3本の直線で、裏の縫い目は輪状(ループ)がジグザグ状になっている。



針糸がゆるい
チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。



針糸がきつい
チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

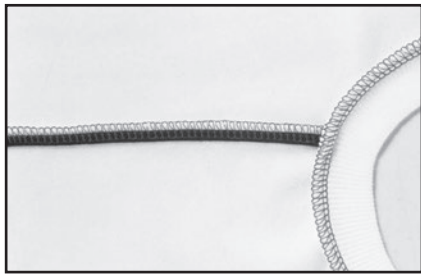
14

実用縫い

オーバーロック縫いのとき、「標準押え」はテープを入れながら縫うことができます。またカバーステッチで裾縫いをするとき付属の「生地ガイド」を使用すると便利です。

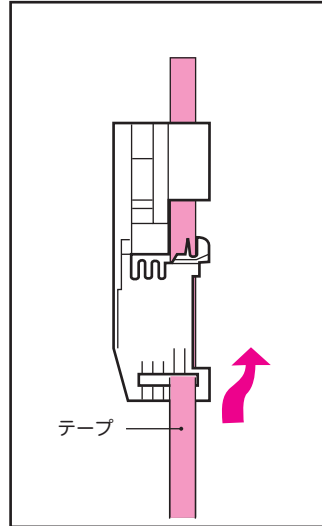
14-1 「標準押え」でテープを入れる

「標準押え」は、右のように縁かがり（オーバーロック）と同時に、伸び止めテープ（ウーリースピントープ）や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は右記の通り。



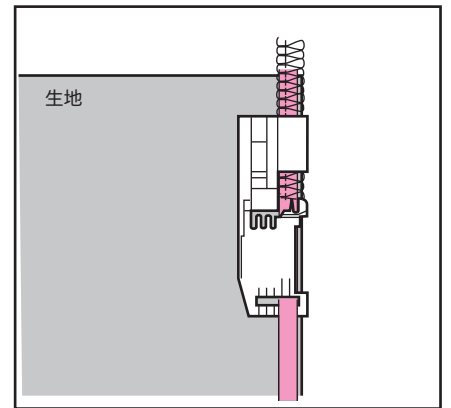
肩部分の合わせ縫いに最適

1 押え金を取り外して、テープを通しておく。

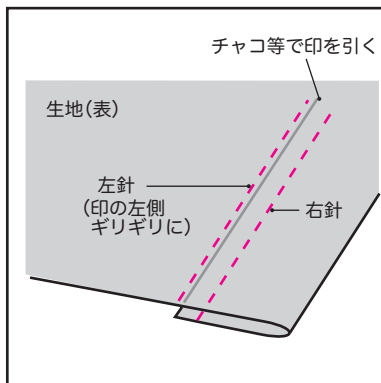


2 針を一番上に上げ、P31の押え金の【取り付け方】を参照に押え金を取り付ける。

3 空縫いしてから、生地を入れて縫い始める。



14-2 カバーステッチの裾縫い



1 まず最初に何cm折り上げるかを決める。

2 決めた分の布地を折り上げ、アイロンをかけておく。

3 折り上げた布端が布の表からわかるように、定規で測って布の表にチャコ等で印を引いておく。

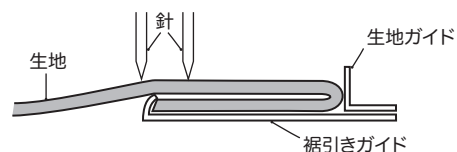
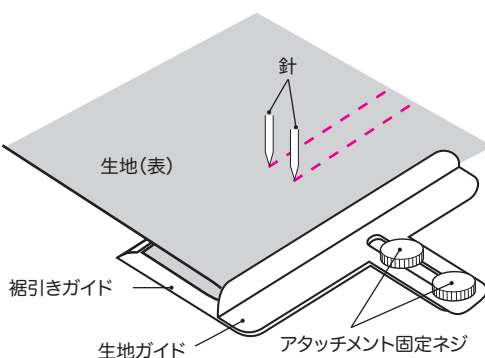
4 布の表を上にして押え金の下に置き、左針の右側ギリギリに、引いた印が来るようにする。

5 印からはずれないように縫っていく。

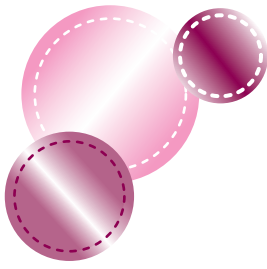
6 布の端まで縫い終わったら、押え金と針を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。

7 表に出ている糸は裏側へ引っ張り出し、すべての糸をまとめて結ぶ。

付属の生地ガイドと裾引きガイドを下記のようにして使うとより簡単に裾縫いができます。



※但し、カーブを縫うときなどは裾引きガイドを使用せず、生地ガイドのみの方が縫いやすいこともあります。



インターロック編

5本糸インターロック

(1本針3本糸オーバーロック+1本針2本糸チェーンステッチ)

5本糸インターロックで縫う場合は下記の順番に従って切り換えてください。

1 針

O側の左針を1本
C側の針を1本

注 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

2 カバーステッチ切換レバー

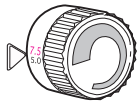
トリプルカバーステッチ オーバーロック
カバーステッチ ウェーブロック
チェーンステッチ インターロック



3 糸をかける

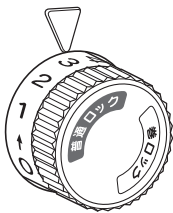
(P14~18・P33~35参照)

9 かがり幅ダイヤル



上段の大きい数字
7.5mmに合わせる

8 送り目ダイヤル



【普通ロック】側の数字で合わせる

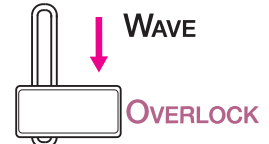
7 メスは使用

6 メスカバーを付ける

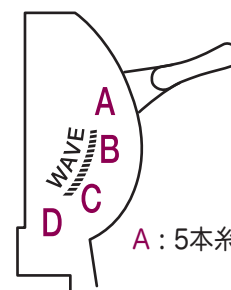
ソーイングテーブルが付いて
いれればはずす

4

オーバーロック/
ウェーブロック切換ツマミ
OVERLOCKに合わせる



5 縫い目切換ダイヤル



A : 5本糸インターロック

インターロック編

15

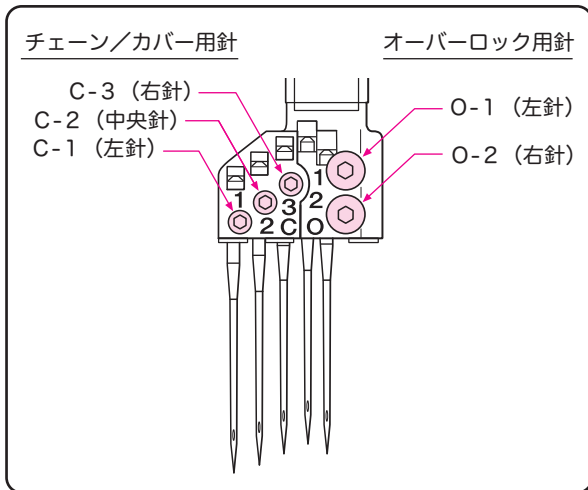
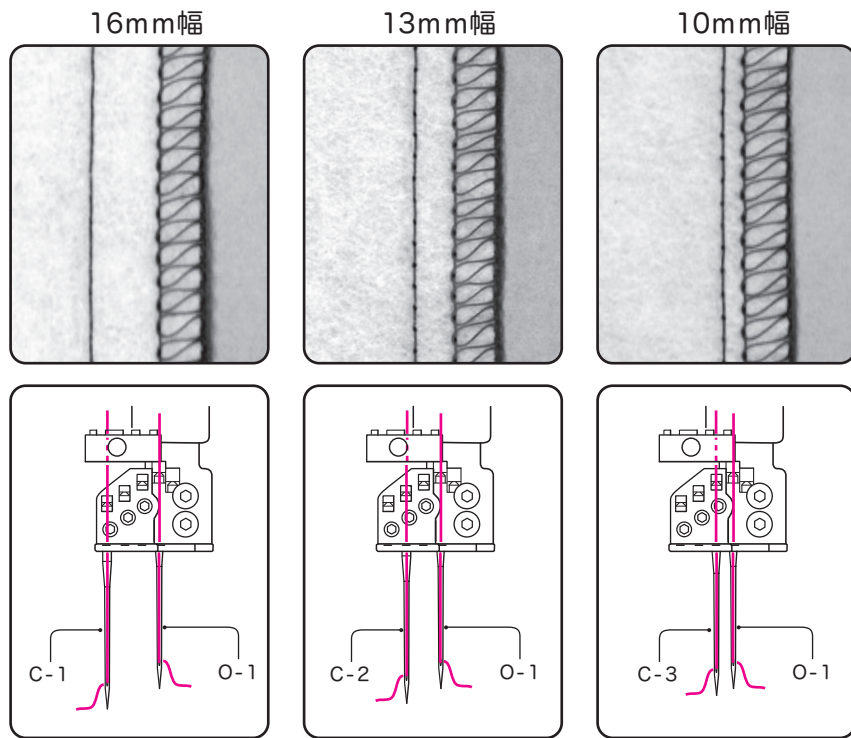
「インターロック」の縫い方

5本糸インターロックはチェーンステッチによる縫い合わせと1本針3本糸オーバーロックによる縁かがりが同時にでき、あらゆるタイプの布の縫い合わせに最適な縫い目です。既製品の多くにこの縫い目が使われています。

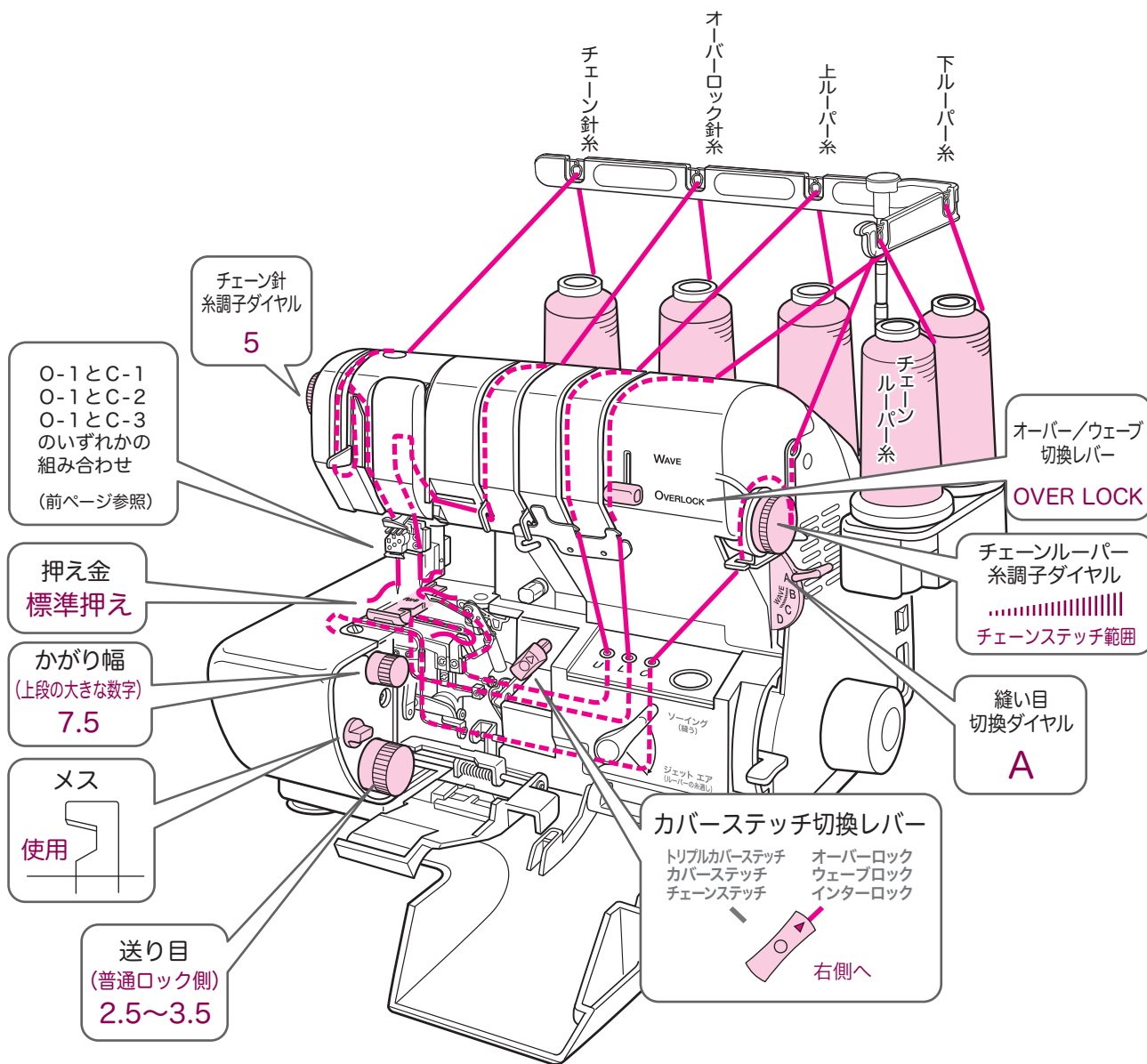
15-1「インターロック」の縫い目について

どのチェーン針糸を使用するかによって縫い代が変わってきます。

5本糸
インターロック



15-2「インターロック」の縫い方



※糸調子ダイヤルは使用する糸や布地によって若干変わりますので調整してください。

メンテナンス編

通常、ロックミシンは生地を切りながら縫うため、ホコリがたまりやすいので日頃のお掃除が大切です。また針やメスは消耗品ですので、糸切れや縫い乱れがある場合は交換してください。

16

メンテナンスについて

16-1 針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

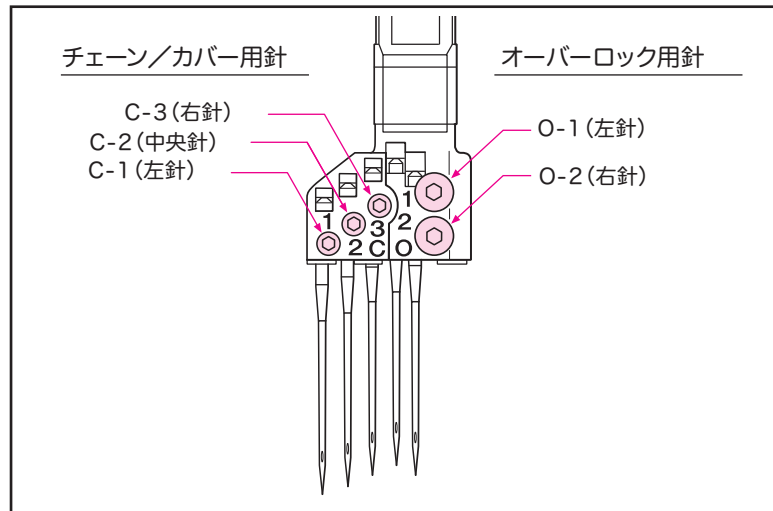
このミシンの針は必ず **ELx705#14または#12** をご使用ください。この針以外は使用できません。

推奨する針の太さ…薄地～中厚地：#12 中厚地～厚地：#14 ※針は数字が大きくなるほど太くなります。

ウェーブロックで縫うときは針を#14の太さにしてください。

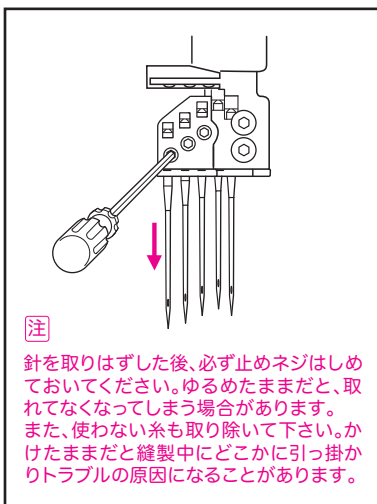
注意 ケガをする恐れがあります。

針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

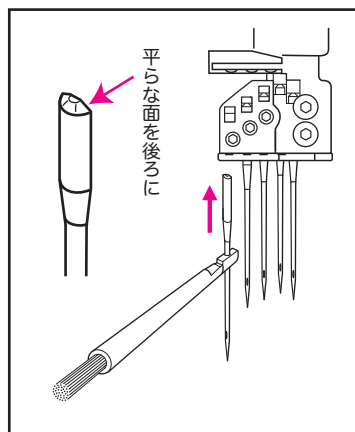


1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

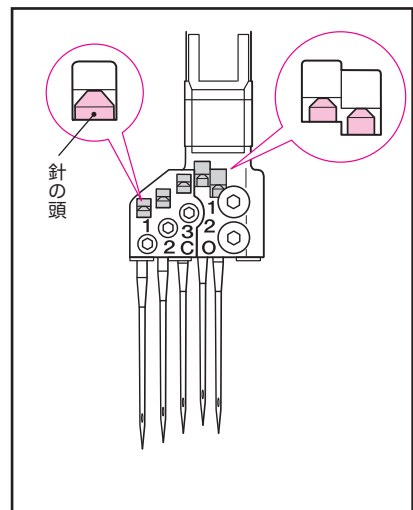
2 付属の六角ドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。

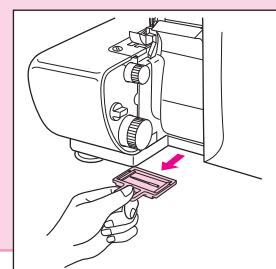


4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



ワンポイント

針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



メンテナンスについて

メスの交換／掃除と注油について／ルーパースレッダーの使い方

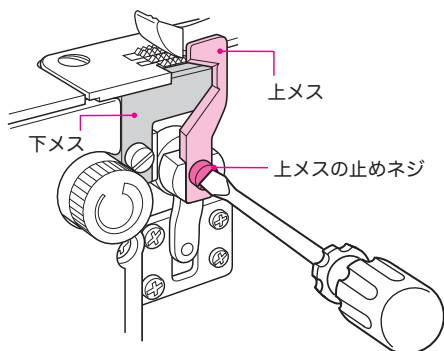


メスの交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

16-2 メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスはずす。

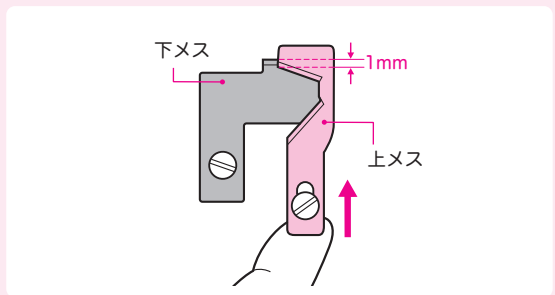


- ※その他の部品はずしたり、ネジをゆるめたりしないでください。
- ※メスは安全上、強くしめています。ゆるめるときは、止めネジのサイズにあったにぎりの大きなドライバーを使用してください。
- ※安全上、止めネジは強くしめてください。

- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。

ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げ、図のように上メスの歯の部分が下メスの上端からだいたいい1mm程度沈み込んだ位置にします。このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくことで取り付け作業が容易に行えます。



16-3 掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため切りクズがたまりやすくなります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。また、音が大きくなったりした場合は、駆動部（動いている部分）に1～2滴、ミシン油を注してみてください。

注 エアスルーシステムのパイプの穴部分には絶対に油を入れしないでください。

16-4 「ルーパースレッダー」の使い方

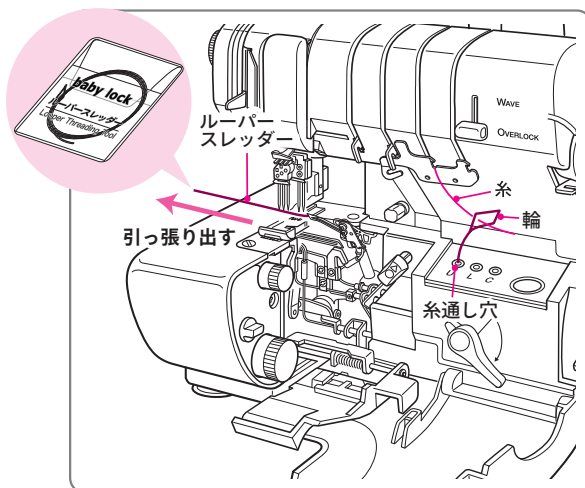
エアスルーシステムの「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、またパイプの掃除具として使用すると便利です。ルーパースレッダーを使用する場合は、まず「はずみ車」の固定 (P14・25・33 参照) をします。

① 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、「糸通し穴」に差し込んで、ルーパーの先端から引っ張り出します。

② 掃除具として

「糸通し穴」に『ルーパースレッダー』を差し込み、ルーパーの先端から出てきたら引っ張り出します。この作業を数回繰り返すと、パイプにたまった糸クズが取れます。



16-5 トラブルシューティング

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが [I] になっていますか。 <input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。 <input type="checkbox"/> サイドカバーやフロントカバーがきちんと閉まっていますか。	6 6 14,25,33 5
まったく縫えない！	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。	14,25,33
オーバーロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切換ツマミが [OVER LOCK] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 4本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが [A] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 3本糸・2本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが [B] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。 <input type="checkbox"/> 差動レバーの位置は適切ですか。	12 19 19,22 9 11
巻きロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切換ツマミが [OVER LOCK] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが [C] または [D] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。 <input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 差動レバーの位置は適切ですか。	12 20 9 9 11
ウェーブロックがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 1本針3本糸になっていますか？ <input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切換ツマミが [WAVE] になっていますか。 <input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが [W B] ウェーブまたは [W C] ウェーブの巻きロックになっていますか。 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [W B] のときは普通ロック側の数字、 [W C] のときは巻きロック側の数字になっていますか。	24 23 30 30
チェーン／カバーステッチがうまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。 <input type="checkbox"/> 糸調子がバランス良くとれていますか。 <input type="checkbox"/> 差動レバーの位置は適切ですか。 <input type="checkbox"/> 布を針の下へ置いてから縫い始めていますか。	34,35 36~38 11 7,8
目とび、糸切れがする！	<input type="checkbox"/> 針は指定の [E L × 7 0 5 # 14 または # 12] がついていますか。 <input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。 <input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。 <input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 <input type="checkbox"/> 古い糸を使用していませんか。	44 44 44 13~18,24~29,32~35 13~18,24~29,32~35 13
メスが布地を切らない！	<input type="checkbox"/> メス固定ツマミが [LOCK (固定)] になっていませんか。 <input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。	10 45
エアボタンを押しても糸が通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。 <input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が1~2cm挿入されていますか。 <input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20~30cmほどたるませていますか。 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 <input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていませんか。	14,25,33 15,16,26,27,34 15,16,26,27,34 15,16,26,27,34 45

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



仕様

- 縫い型式：
 - 2本針4本糸オーバーロック
 - 1本針3本糸オーバーロック
 - 1本針2本糸オーバーロック
 - 1本針3本糸ウェーブロック
 - 1本針2本糸チェーンステッチ
 - 3本針4本糸カバーステッチ
 - 2本針3本糸カバーステッチ
 - 2本針5本糸インターロック
- オーバー/ウェーブ
 - ロックのかがり幅：
 - 2本針4本糸ロック5.5～7.5mm
 - 1本針3本糸ロック3.0～7.5mm
 - 巻きロック1.5mm
- カバーステッチ幅：3mmと6mm
- 送り目(縫い目長さ)：0.75～4mm
- 差動比率：0.6～2.0
(伸ばし・縮みの比率)
- メス上下量：6.5mm
- 押え上がり量：4.5mm
- 送り歯高さ：0.7mm
- 縫い速度：毎分1,300針
- 使用針：EL×705(#12, #14)
- 使用糸本数：5本、4本、3本、2本
- 消費電力：105W
- 照明ライト：白色LED×3
- ミシンの大きさ：奥行280×幅365×高さ310mm
- ミシンの重さ：9.6kg

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

製品ユーザー登録はこちらから

www.babylock.co.jp/user

ベビーロックをもっと活用していただくための
コンテンツや特典をご提供しています。



最新情報や作品づくりのアイデアは
ホームページとSNSをチェック!



株式会社ベビーロック www.babylock.co.jp

本社：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03 (3265) 2851 (代表)

支店：東京 03 (6261) 4151 大阪 06 (6967) 3300 福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	TEL		

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお勧めします。